

能力開発セミナー コース案内 2017

2017 年 10 月～2018 年 3 月

○ポリテクセンター千葉

機 械 系

機械設計・製図（開発）分野／機械加工分野／計測・測定技術分野
溶接・熱処理技術分野

p12

電気・電子系

制御技術分野／電気保全・電気設備保全技術分野
回路設計技術分野／マイコン技術分野／画像処理技術分野／ICT 分野

p19

居 住 系

建築設備管理分野（ビルメンテナンス分野）／建築設備施工分野
省エネ技術分野／建築設計・構造技術分野

P24

生 産 管 理

生産計画／生産管理、工程管理／技術管理
原価管理／在庫管理、教育訓練計画／教育訓練実施、安全管理

P32

生産性向上

生産性向上支援訓練

P38

○ポリテクセンター君津

機 械 系

機械設計・製図分野／機械加工分野／溶接・熱処理技術分野

P41

ハロートレーニング

～ 急 が ば 学 べ ～

* ハロートレーニングとは公的職業訓練の愛称です。



独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部

ポリテクセンター千葉 （千葉職業能力開発促進センター）

ポリテクセンター君津 （千葉職業能力開発促進センター君津訓練センター）

はじめに

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部 千葉職業能力開発促進センター（ポリテクセンター千葉）及び君津訓練センター（ポリテクセンター君津）では、在職者を対象に、技術革新や産業構造の変化等に対応し、職業に必要な高度な技能及び知識の習得を支援するため、中小企業で働く方々を主な対象とし、ものづくり分野を中心に能力開発セミナーを実施しております。この能力開発セミナーを企業の人材育成・能力開発にご活用いただきますようご案内申し上げます。

なお、このセミナーコース案内に掲載している訓練コース以外にも内容、日程、開催場所などをカスタマイズしたオーダーメイド型能力開発セミナー等の人材育成に関するご相談も承っておりますので、お気軽にご相談ください。

ホームページのご案内について

下記のポリテクセンター千葉及びポリテクセンター君津のホームページからも各コースの内容、月別のコース一覧などをご覧いただけます。

また、能力開発セミナー受講申込書の用紙をダウンロードすることもできます。
ぜひ、ご活用ください。

ポリテクセンター千葉

検 索



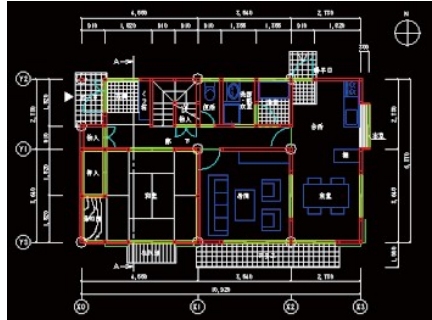
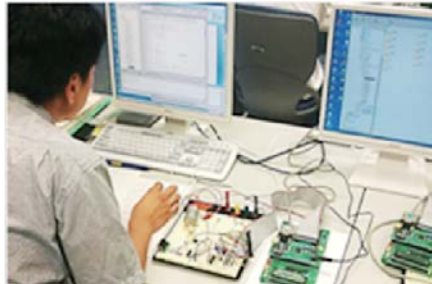
ポリテクセンター君津

検 索



* 公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズが「ハロートレーニング～急がば学べ～」に決定しました。

目 次



目 次	P 1
平成 29 年度 能力開発セミナー後期日程表	P 2
能力開発セミナー受講推奨フロー	P 8
ポリテクセンター千葉	① 機械設計・製図（開発）分野 P 12 ② 機械加工分野 P 13 ③ 計測・測定技術分野 P 16 ④ 溶接・熱処理技術分野 P 17 ⑤ 制御技術分野 P 19 ⑥ 電気保全・電気設備保全技術分野 P 21 ⑦ 回路設計技術分野 P 22 ⑧ マイコン技術分野 P 23 ⑨ 画像処理技術分野 P 23 ⑩ 建築設備管理分野（ビルメンテナンス分野） P 24 ⑪ 建築設備施工分野 P 26 ⑫ 省エネ技術分野 P 28 ⑬ 建築設計・構造技術分野 P 28 ⑭ 生産管理分野 P 32 ⑮ オーダーメイドコース（生産性向上支援訓練） P 38
ポリテクセンター君津	⑯ 機械設計・製図分野 P 41 ⑰ 機械加工分野 P 42 ⑱ 溶接・熱処理技術分野 P 43
お申し込み方法と受講のご案内	P 44
受講に関する注意事項について	P 45
受講の取消、受講者の変更について	P 45
能力開発セミナー受講申込書	P 46
能力開発セミナー受講取消・変更届	P 48
よくあるご質問（Q&A）	P 50
生産性向上支援訓練のご案内	P 52
各種ご案内	P 54

分野	コース 番号	コース名	掲載 ページ	定員	日数	受講料 (税込)	開催 回数
機械設計・製図 (開発)分野	M0102	実践機械製図	P12	10名	3日間	13,000円	1回
	M0202	機械設計者のための企画開発実習(機械設計編)	P12	10名	2日間	8,000円	1回
	M0302	実践機械設計技術(2次元設計)	P13	10名	3日間	14,000円	1回
機械加工分野	M0402	旋盤実践技術(高精度加工編)	P13	8名	3日間	15,000円	1回
	M0502	旋盤精密加工技術	P14	8名	3日間	15,000円	1回
	M0602	フライス盤精密加工技術	P14	8名	3日間	15,000円	1回
	M0702	フライス盤精密加工応用技術	P15	8名	3日間	15,000円	1回
	M0802	切削加工の理論と実際	P15	10名	3日間	14,000円	1回
計測・測定 技術分野	M0903 M0904	精密測定技術(長さ測定編)	P16	8名	2日間	12,500円	2回
溶接技術・分熱 処理分野	W0104 W0105	半自動アーク溶接実践技術(各種姿勢編)	P17	10名	2日間	12,000円	2回
	W0204	TIG溶接技能クリニック	P17	10名	2日間	12,000円	1回
	W0301	金属材料の選び方とその熱処理方法	P18	10名	3日間	17,000円	1回
	W0401	溶接技術者、品質管理技術者のための浸透探傷	P18	6名	3日間	18,500円	1回
分野	コース 番号	コース名	掲載 ページ	定員	日数	受講料 (税込)	開催 回数
制御技術分野	E0103	有接点シーケンス制御の実践技術	P19	10名	2日間	10,000円	1回
	E0202	有接点シーケンス制御による電動機制御の実務	P19	10名	2日間	10,000円	1回
	E0403 E0404	実践的PLC制御技術(三菱Q編)	P20	10名	2日間	8,000円	2回
	E0502	PLCによる自動化制御技術(三菱Q編)	P20	10名	2日間	9,500円	1回
	E0601	タッチパネルを活用したFAライン管理	P21	10名	2日間	8,500円	1回
電気保安・ 電気設備保全技術 分野	E1103	受変電設備の実践的保安技術	P21	10名	3日間	12,000円	1回

平成29年 10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月
11(水)～13(金)					
		19(火),20(水)			
			16(火)～18(木)		
	20(月)～22(水)				
			23(火)～25(木)		
	7(火)～9(木)				
		4(月)～6(水)			
				26(月)～28(水)	
		12(火),13(水)			6(火),7(水)
19(木),20(金)					13(火),14(水)
26(木),27(金)					
2(月)～4(水)					
			17(水)～19(金)		
平成29年 10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月
11(水),12(木)					
			24(水),25(木)		
3(火),4(水)			16(火),17(水)		
					6(火),7(水)
		5(火),6(水)			
※日程調整中です。					

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	定員	日数	受講料(税込)	開催回数
技術回路分設分野計	E1601	実習で学ぶパワーエレクトロニクス回路	P22	10名	2日間	10,000円	1回
	E1701	回路シミュレータを用いた電子回路解析技術 	P22	10名	2日間	10,000円	1回
マイコン技術分野	E1901	組み込みシステムにおけるプログラム開発技術(H8編)	P23	10名	2日間	16,000円	1回
画像処理技術分野	E2001	画像処理・認識プログラム開発技術(Open CV編)	P23	12名	2日間	12,000円	1回
分野	コース番号	コース名	掲載ページ	定員	日数	受講料(税込)	開催回数
(ビル建築設備メンテナンス分野)	H0104 H0105 H0106	現場のための実践的電気計測技術	P24	10名	2日間	7,500円	3回
	H0203 H0204	有接点シーケンス制御の実践技術	P24	10名	2日間	11,000円	2回
	H0302	有接点シーケンス制御による電動機制御の実務	P25	10名	2日間	11,000円	1回
建築設備施工分野	H0503 H0504	実践的な冷媒配管の施工と空調機器据付け技術(ルームエアコン編)	P25	5名	2日間	21,500円	2回
	H0602	実践的な冷媒配管の施工と空調機器据付け技術(パッケージエアコン編) 	P26	5名	2日間	25,000円	1回
	H0703 H0704	冷媒配管の加工・接合技術	P26	5名	2日間	【平日】15,000円 【土日】17,500円	2回
省エネ技術分野	H0802	太陽光発電システムの設計と施工	P27	15名	3日間	14,000円	1回
建築設計・構造技術分野	H0902	給排水衛生設備設計実践技術	P27	10名	2日間	14,500円	1回
	H1002	室内の温熱環境設計技術	P28	10名	2日間	13,500円	1回
	H1104 H1105 H1106	実践建築一般図・詳細図作成技術(2次元CAD)	P28	10名	2日間	8,000円	3回
	H1204 H1206	実践建築製図作成技術(2次元CAD)	P29	10名	2日間	8,000円	2回
	H1302	実践建築設計のプレゼンテーション	P29	10名	2日間	8,000円	1回
	H1402	実践建築設計のプレゼンテーション(ArchiCAD編)	P30	10名	2日間	8,000円	1回
	H1601	木造住宅における性能表示(構造の安定編)	P30	10名	2日間	8,000円	1回
	H1701	建築積算(躯体)実践技術 	P31	15名	4日間	15,000円	1回
	H1801	建築積算(仕上げ)実践技術 	P31	15名	3日間	11,500円	1回

平成29年 10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月
		13(水),14(木)			
				21(水),22(木)	
	21(火),22(水)				
			11(木),12(金)		
平成29年 10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月
	25(土),26(日)		20(土),21(日)		3(土),4(日)
14(土),15(日)	25(土),26(日)				
			20(土),21(日)		
28(土),29(日)		9(土),10(日)			
				17(土),18(日)	
		2(土),3(日)		22(木),23(金)	
14(土),21(土), 28(土)					
				10(土),11(日)	
		16(土),17(日)			
14(土),15(日)		2(土),3(日)		17(土),18(日)	
	18(土),19(日)				17(土),18(日)
				3(土),4(日)	
			6(土),7(日)		
14(土),21(土)					
7(土),14(土),21(土),28(土)					
	11(土),18(土),25(土)				

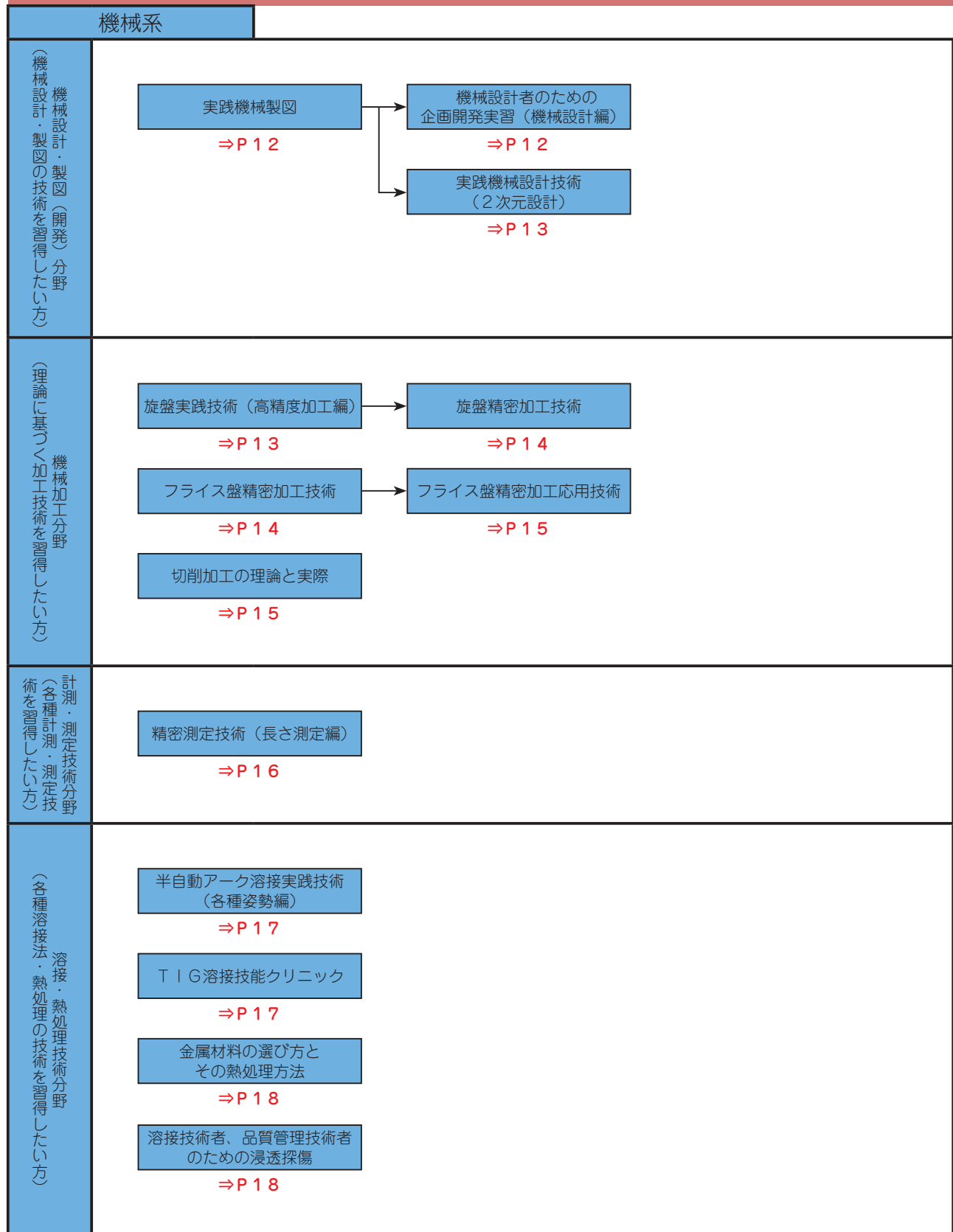
分野	コース 番号	コース名	掲 載 ページ	定員	日数	受講料 (税込)	開催 回数
生産 管理 分野	S0102	仕事と人を動かす現場監督者の育成	P 32	10 名	2 日間	8,000 円	1 回
	S0202	実践 生産性改善	P 32	10 名	2 日間	8,000 円	1 回
	S0302	製造現場における工程管理技法と改善	P 33	10 名	2 日間	8,000 円	1 回
	S0402	営業活動と連動した戦略的生産管理	P 33	10 名	2 日間	8,000 円	1 回
	S0502	製造業におけるコスト原単位の捉え方と活用	P 34	10 名	2 日間	9,000 円	1 回
	S0602	現場の問題解決実践（5Sの実践と定着）	P 34	10 名	2 日間	8,000 円	1 回
	S0702	ヒューマンエラー防止実践手法	P 35	10 名	2 日間	8,000 円	1 回
	S0802	高生産性を維持するための設備管理と故障診断	P 35	10 名	2 日間	8,000 円	1 回
	S0902	安全確保のための現場改善手法	P 36	10 名	2 日間	8,000 円	1 回
	S1002	自主保全・現場改善活動による総合的生産保全技術	P 36	10 名	2 日間	8,000 円	1 回
	S1102	製造現場のマネジメントシステムを活用した品質管理技術	P 37	10 名	2 日間	8,000 円	1 回

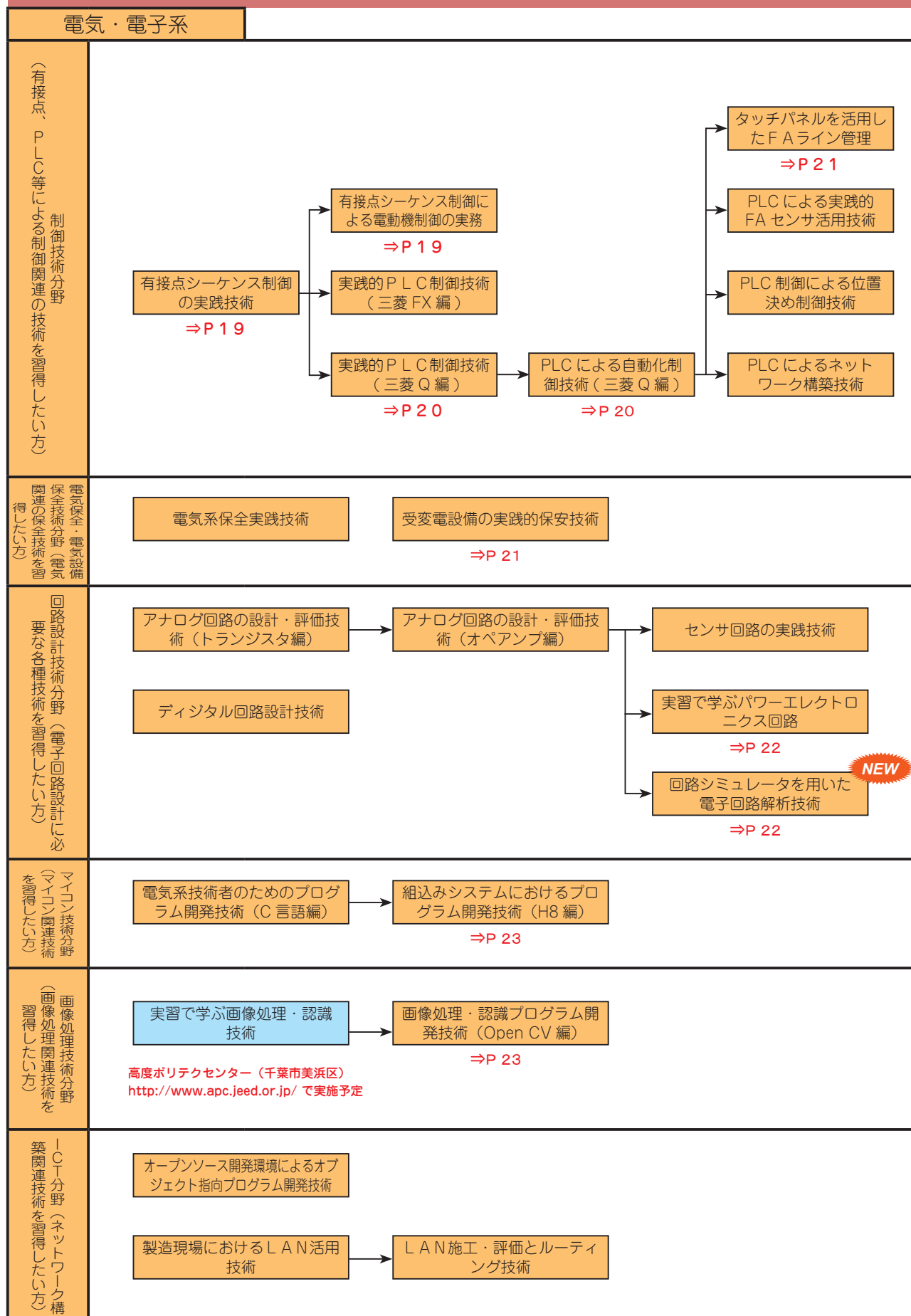
分野	コース 番号	コース名	掲 載 ページ	定員	日数	受講料 (税込)	開催 回数
機械 設計 分野	M-K102	実践機械設計技術（2次元設計）	P 41	10 名	3 日間	14,000 円	1 回
	M-K202	設計ツールによるモデリング技術	P 41	10 名	3 日間	14,000 円	1 回
機械 加工 分野	M-K302	実践旋盤加工技術（加工精度編）	P 42	6 名	3 日間	17,000 円	1 回
	M-K402	実践フライス盤加工技術	P 42	6 名	3 日間	17,000 円	1 回
溶接 技術・ 分野 処理	M-K502	被覆アーク溶接実践技術（各種姿勢溶接）	P 43	10 名	2 日間	12,000 円	1 回
	M-K702	TIG溶接技能クリニック 	P 43	10 名	2 日間	12,000 円	1 回

平成29年 10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月
24(火),25(水)					
17(火),18(水)					
	7(火),8(水)				
		5(火),6(水)			
				6(火),7(水)	
	14(火),15(水)				
		19(火),20(水)			
11(水),12(木)					
10/31(火),11/1(水)					
	21(火),22(水)				
		12(火),13(水)			

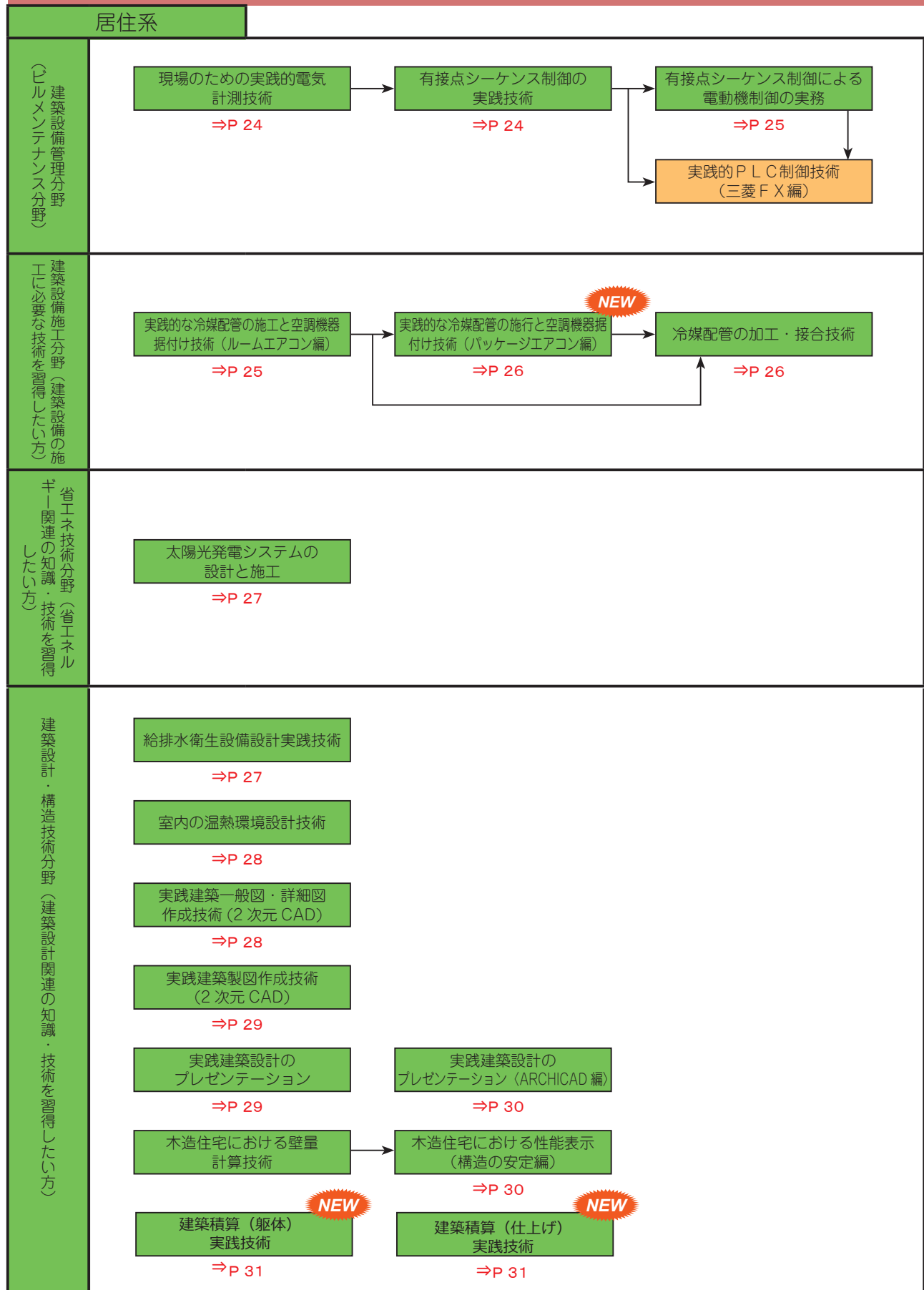
平成29年 10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月
	7(火)～9(木)				
	14(火)～16(木)				
		5(火)～7(木)			
		12(火)～14(木)			
		6(水),7(木)			
	21(火),22(水)				

能力開発セミナー受講推奨フロー

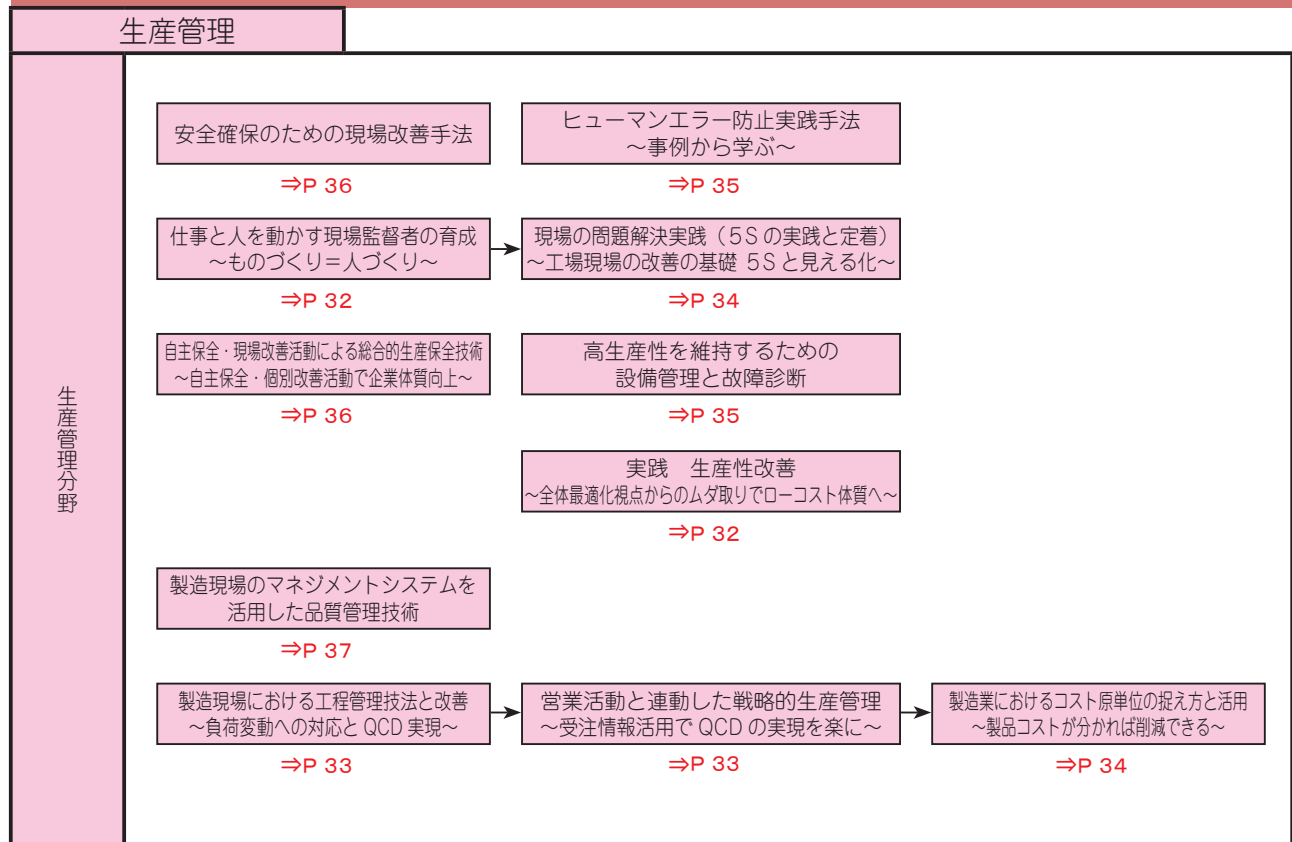




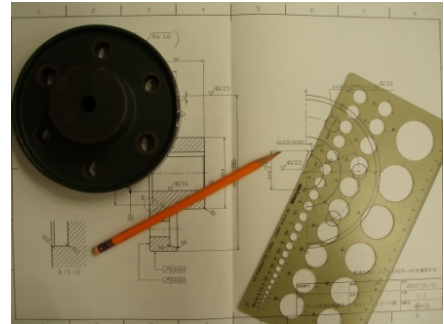
能力開発セミナー受講推奨フロー



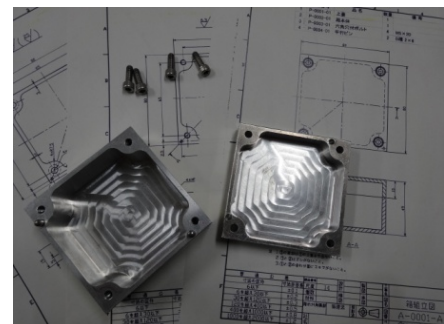
能力開発セミナー受講推奨フロー



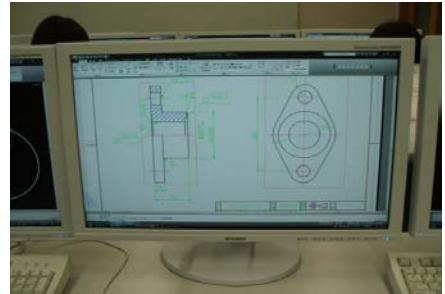
機械設計・製図分野			
実践機械製図 ～JIS 製図規格を理解し、現場に必要な読図力と製図力を習得するコース～			
受講対象者	機械設計製図業務に携わる方や作図作業に不安を抱いている方		
講習内容等	機械設計業務の効率化をめざして、機械製図の作成時に求められる読図力と製図力を習得します。 ・機械製図概要、JIS 製図規格について ・投影法及び図の表し方について ・寸法記入法、寸法公差及びはめあいの方式 ・幾何公差、表面性状の図示方法 ・機械要素概要		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】			
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
MO102	平成 29 年 10 月 11 日（水）、12 日（木）、13 日（金）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(18時間)	9:10～16:00（6 時間／日）	10 名	13,000 円（税込）



機械設計・開発分野			
機械設計者のための企画開発実習（機械設計編） ～製品開発における企画から設計・試作までのプロセスを習得するコース～			
受講対象者	これから機械設計に従事しようとする方や機械の設計や開発について興味のある方		
講習内容等	魅力的な新商品開発能力の技能伝承と、機械設計業務の効率化をめざして、製品開発の工程である「企画・設計・試作」の全体的な流れについて実習を通じて設計力を習得します。 ・設計概要（企画・仕様・設計・試作） ・設計者の心得 ・材料の確認と検討（材料の特性と選定） ・構想設計（仕様書の確認と全体構想図） ・詳細設計（部品図と組立図の作成、仕様との照合） ・デザインレビュー（DR）による考察とまとめ		
講師	横山 宏（SONY、IHI のOB）		
【使用機器等】			
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
MO202	平成 29 年 12 月 19 日（火）、20 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6 時間／日）	10 名	8,000 円（税込）



機械設計・製図分野			
実践機械設計技術（２次元設計） ～JIS 製図規格を理解し、２次元CADによる機械図面作成を習得するコース～			
受講対象者	２次元 CAD 業務に携わる方や手書き製図から CAD への移行をお考えの方		
講習内容等	２次元 CAD システム（AutoCAD）を効果的に活用するために、環境構築や作図手法、図面データの活用技術を習得します。 ・ ２次元 CAD 概要、JIS 製図規格 ・ 基本操作及び各種設定作業 ・ CAD による作図（作図機能、編集機能、寸法記入） ・ 設計と効率化（ブロック登録と利用） ・ 印刷設定と出力 ・ 課題演習及びまとめ		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	２次元 CAD システム（AutoCAD2010）		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
MO302	平成 30 年 1 月 16 日（火）、17 日（水）、18 日（木）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(18時間)	9:10～16:00（６時間／日）	10 名	14,000 円（税込）



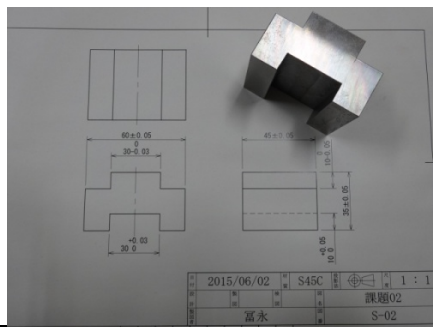
機械加工分野			
旋盤実践技術（高精度加工編） ～旋盤による加工方法、切削条件の決め方及び外径加工、内径加工等の実践的な加工法を習得するコース～			
受講対象者	汎用旋盤作業に従事する方、又はこれから汎用旋盤作業に従事しようとする方		
講習内容等	旋盤の操作方法、四爪チャックによる心出し作業、切削条件の設定方法及び内・外径加工、溝入れ加工、段付け加工に必要な実践的な知識・技能・技術を習得します。 ・ 旋盤加工の概要 ・ 旋盤加工の切削条件 ・ 旋盤の操作方法 ・ 四爪チャックによる取り付けと心出し方法 ・ 端面加工、内・外径加工、溝入れ加工 ・ 段付け加工 ・ 組み合わせ部品のはめあい		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	旋盤（池貝AM20）		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		
コース番号	日 程		
MO402	平成 29 年 11 月 20 日（月）、21 日（火）、22 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(21時間)	9:10～17:00（7 時間／日）	8 名	15,000 円（税込）



機械加工分野			
旋盤精密加工技術			
～旋盤による加工方法、組み合わせ加工、部品加工に必要な実践的な知識・技能・技術を習得するコース～			
受講対象者	汎用旋盤加工に従事する方		
講習内容等	旋盤による加工方法、四爪チャックによる心出し作業、切削条件の設定方法及びテーパ加工、ねじ切り加工、組み合わせ部品加工に必要な実践的な知識・技能・技術を習得します。 ・旋盤の安全作業 ・切削条件の設定方法 ・外径、内径の段付け加工 ・テーパ加工 ・外径ねじ切り加工 ・組み合わせ部品加工		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	旋盤（池貝AM20）		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		
コース番号	日 程		
M0502	平成 30 年 1 月 23 日（火）、24 日（水）、25 日（木）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(21 時間)	9:10～17:00（7 時間／日）	8 名	15,000 円（税込）



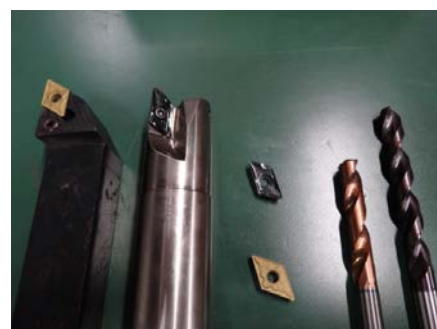
機械加工分野			
フライス盤精密加工技術			
～フライス盤における代表的な工具を用いた加工実習コース～			
受講対象者	フライス盤加工に興味がある方、又はこれからフライス盤加工の仕事に従事しようとする方		
講習内容等	立てフライス盤を用いた加工に関する基礎的なノウハウを学び、加工課題の製作を通して、正面フライス及びエンドミルを用いたフライス加工に関する知識と技能を習得します。 ・フライス盤の概要 ・主な使用工具の概要（正面フライス、エンドミル） ・フライス盤の切削作用及び切削条件 ・六面体加工（正面フライス） ・段付、直溝加工（エンドミル）		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	ひざ形立てフライス盤（大隈豊和 STM2V）		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		
コース番号	日 程		
M0602	平成 29 年 11 月 7 日（火）、8 日（水）、9 日（木）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(21 時間)	9:10～17:00（7 時間／日）	8 名	15,000 円（税込）



機械加工分野			
フライス盤精密加工応用技術 ～フライス盤におけるエンドミル実践加工実習コース～			
受講対象者	汎用フライス盤作業の操作経験がある方		
講習内容等	立てフライス盤を用いたエンドミル加工に関するノウハウを学び、エンドミル加工の基礎である段付・直溝から曲面加工、こう配加工などの加工課題製作を通じてエンドミル加工の知識・技能を習得します。 ・段付、直溝加工 ・曲面加工 ・こう配加工		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	ひざ形立てフライス盤（大隈豊和 STM2V）		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		
コース番号	日 程		
M0702	平成 29 年 12 月 4 日（月）、5 日（火）、6 日（水）		
日 数	時 間	定員	受講料
3日間(21時間)	9:10～17:00（7時間／日）	8 名	15,000 円（税込）



機械加工分野			
切削加工の理論と実際 ～切削加工の理論と切削加工工具の活用技術を習得するコース～			
受講対象者	機械加工に従事する方		
講習内容等	切削加工における工具寿命や加工面粗さ、加工条件、加工能率、切りくず処理などの生産現場における問題点の解決に役立つ知識・技能・技術について、切削加工実験を通して学び、生産効率や品質向上を図るための切削加工の理論と実際の相違点を理解します。 ・切削加工の理論について ・工具寿命について ・切削加工実験（切削速度、送り、加工表面粗さ） ・最新切削工具の技術動向及び切削工具について ・最新切削工具の切削実演		
講師	三菱マテリアル株式会社、ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	旋盤（池貝AM20）、マシニングセンタ（静岡鐵工所 HSR-7）、表面粗さ測定機		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		
コース番号	日 程		
M0802	平成 30 年 2 月 26 日（月）、27 日（火）、28 日（水）		
日 数	時 間	定員	受講料
3日間(18時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	14,000 円（税込）



精密測定技術（長さ測定編）

～測定に関する知識とノギス・マイクロメータなどの長さ測定器の取扱い習得実習コース～

受講対象者	これから測定・検査業務に携わる方や加工・製造の過程で測定技術を必要とされる方		
講習内容等	測定に関する知識やノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージなどの代表的な長さ測定器の正しい取り扱いなどを学び、信頼性の高い測定をする場合に必要な知識や技能を習得します。 ・測定の重要性 ・測定誤差の原因 ・測定器の正しい取扱い ・各種測定器を用いた測定実習 		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	ノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージ等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
M0903	平成 29 年 12 月 12 日（火）、13 日（水）		
M0904	平成 30 年 3 月 6 日（火）、7 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6 時間／日）	8 名	12,500 円（税込）

半自動アーク溶接実践技術（各種姿勢編）

～半自動アーク溶接の技能を習得するコース～

受講対象者	アーク溶接作業にこれから従事する方、又は現在従事している方		
講習内容等	半自動アーク溶接の技能をしっかりと習得することを主眼とし、さらに技能の高度化をめざして、受講者の技能レベルを診断し、その結果に基づいて各課題実習を通し、技能のレベルアップと実際に起こり得る品質上の問題点の把握及び解決方法を習得します。 ・各種溶接法の特徴 ・ワイヤの知識（種類、特徴）、安全の知識 ・電流・電圧条件の設定、トーチ操作 ・下向き溶接、水平すみ肉溶接（T継手） ・施工上のポイント		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	半自動アーク溶接機、安全保護具、器工具一式		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽（ヘルメット可）、安全靴 ※手袋は当センターで用意します。		
コース番号	日 程		
WO104	平成 29 年 10 月 19 日（木）、20 日（金）		
WO105	平成 30 年 3 月 13 日（火）、14 日（水） 【追加コース】		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	12,000 円（税込）



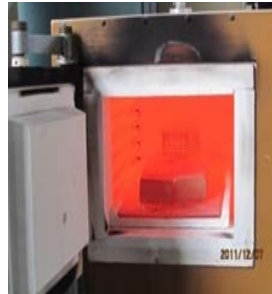
TIG溶接技能クリニック

～TIG溶接の技能を習得するコース～

受講対象者	TIG溶接作業にこれから従事する方、又は現在従事している方		
講習内容等	TIG溶接の技能をしっかりと習得することを主眼とし、さらに技能の高度化をめざして、受講者の技能レベルを診断し、その結果に基づいて各課題実習を通し、技能のレベルアップと実際に起こり得る品質上の問題点の把握及び解決方法を習得します。 ・TIG溶接機の機能 ・電極の知識、安全の知識 ・ステンレス鋼の知識 ・電流調整 ・下向き溶接、水平すみ肉溶接（T継手）		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	TIG溶接機、安全保護具、器工具一式		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽（ヘルメット不可）、安全靴 ※手袋は当センターで用意します。		
コース番号	日 程		
WO204	平成 29 年 10 月 26 日（木）、27 日（金）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	12,000 円（税込）



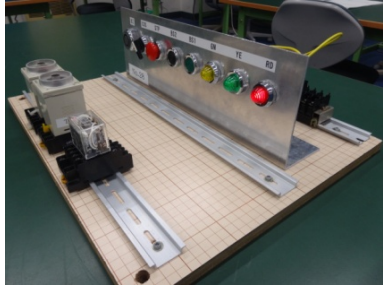
溶接・熱処理技術分野			
金属材料の選び方とその熱処理方法 ～代表的な熱処理法を習得するコース～			
受講対象者	機械設計・各種熱処理作業に従事している方		
講習内容等	熱処理工程の最適化をめざして、各種熱処理技術に必要な鉄鋼材料の知識及び熱処理後に発生する割れなどのトラブルの解決法を習得します。 ・熱処理の概論 ・各種材料の機械的性質 ・鉄鋼の熱処理（機械構造用鋼、工具鋼） ・材料の硬さ試験 ・材料の組織の観察		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	電気炉、金属顕微鏡、硬さ試験機		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽（ヘルメット可）、安全靴		
コース番号	日 程		
WO301	平成 29 年 10 月 2 日（月）、3 日（火）、4 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(18時間)	9:10～16:00（6 時間／日）	10 名	17,000 円（税込）



溶接・熱処理技術分野			
溶接技術者、品質管理技術者のための浸透探傷 ～浸透探傷試験を習得するコース～			
受講対象者	溶接・検査作業に従事している技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	溶接・検査の技能高度化をめざして、浸透探傷技術を理解し、課題を通して溶接・検査の技術を補い、実際に起こり得る品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。 ・非破壊検査の概要 ・溶剤除去性浸透探傷試験 ・水洗性浸透探傷試験 ・後乳化性浸透探傷試験		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	各種浸透探傷剤、対比試験片、各種計測器等		
【持参品】	筆記用具、作業服		
コース番号	日 程		
WO401	平成 30 年 1 月 17 日（水）、18 日（木）、19 日（金）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(18時間)	9:10～16:00（6 時間／日）	6 名	18,500 円（税込）



【※写真は、試験片に浸透探傷試験を行った結果の例】
浸透液（赤色）により溶接欠陥箇所を検出します。

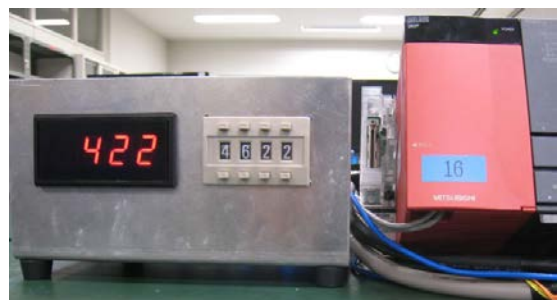
制御技術分野			
有接点シーケンス制御の実践技術			
～シーケンス制御回路の設計及び配線等の実践を通して回路の理解、保守管理までを習得するコース～			
受講対象者	各種機械にシーケンス制御の導入を検討されている方、同保守管理業務の技術者の方		
講習内容等	自動生産システムの基盤となる有接点シーケンス制御について、制御システムを構成する機器の構造やシーケンス図の見方、書き方、配線方法を学び、タイムチャートからシーケンス図を作成し配線方法等を習得します。また、誤配線、機器異常のチェック方法について習得します。 ・制御機器の種類、構造と選定 ・シーケンス図の見方、書き方 ・自動制御回路の配線方法 ・タイムチャートから読み取るシーケンス制御回路設計 ・トラブルのない配線をするための技能・技術 ※本コースは、H0203「有接点シーケンス制御の実践技術」と同等の内容です。 ただし、実習で使用するリレー等の機器は、定格100Vです。 		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	電磁リレー、タイマ、スイッチ、表示灯、テスト、工具等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
E0103	平成29年10月11日（水）、12日（木）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(15時間)	9:10～17:30（7.5時間／日）	10名	10,000円（税込）

制御技術分野			
有接点シーケンス制御による電動機制御の実務			
～三相誘導電動機の運用技術、制御盤の設計・組立を行う技術者のための実践コース～			
受講対象者	電動機を用いたシーケンス制御の導入を検討されている方、同保守管理業務の技術者の方 ※このコースは「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、又は同程度の知識をお持ちの方を対象とします。		
講習内容等	自動制御回路で多く利用されている三相誘導電動機の直入れ始動、電動機の正転逆転運転制御、遠方操作、タイマ運転、スターデルタ始動法について設計、配線作業、運転、点検ができる技術を習得します。 ・三相誘導電動機の知識 ・主回路配線設計 ・直入れ始動、遠方操作、正転逆転運転、タイマ運転回路の作成 ・スターデルタ始動回路のメカニズムと配線 ・回路の点検、メンテナンス方法、安全作業 		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	三相誘導電動機、スイッチ、表示灯、電磁リレー、電磁接触器、タイマ、テスト、工具等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
E0202	平成30年1月24日（水）、25日（木）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(15時間)	9:10～17:30（7.5時間／日）	10名	10,000円（税込）

制御技術分野			
実践的 PLC 制御技術（三菱Q編） ～ PLC の入出力機器配線からラダープログラミングまで、実習を通して習得するコース～			
受講対象者	「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、又は有接点シーケンスの知識を有し、これから PLC を扱った業務に携わる方		
講習内容等	実習を通して PLC を扱う上での配線方法やラダープログラミング等を習得します。 ・ PLC の概要とシステム構成 ・ PLC と入出力機器（スイッチ、ランプ等）の接続方法 ・ ラダーサポートソフトによるプログラミング方法 ・ 基本命令を使ったプログラミング（タイマ回路、カウンタ回路など）		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	三菱 PLC（Q02）、パソコン、ラダーサポートソフト（GX Works）、入出力機器（スイッチ、ランプ等）、工具等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
E0403	平成 29 年 10 月 3 日（火）、4 日（水）		
E0404	平成 30 年 1 月 16 日（火）、17 日（水）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,000 円（税込）



制御技術分野			
PLC による自動化制御技術（三菱Q編） ～ベルトコンベア実習装置を通して応用命令を使用したプログラミングを習得するコース～			
受講対象者	「実践的 PLC 制御技術（三菱Q編）」を受講された方、又は同等の知識をお持ちの方		
講習内容等	PLC の数値処理命令などを用いた制御技術を習得します。 ・ デジタルスイッチ、デジタル表示器と PLC の接続方法 ・ 数値データの転送命令、比較演算命令、四則演算命令などを活用したシーケンスプログラム ・ ミニコンベア実習装置を使用したプログラミング演習		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	三菱 PLC（Q02）、パソコン、ラダーサポートソフト（GX Works）、ミニコンベア実習装置、デジタルスイッチ、デジタル表示器		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
E0502	平成 30 年 3 月 6 日（火）、7 日（水）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(15時間)	9:10～17:30（7.5 時間／日）	10 名	9,500 円（税込）



タッチパネルを活用した FA ライン管理

～タッチパネルの作画方法からタッチパネルを使用した PLC 制御まで、実習を通して習得するコース～

受講対象者	PLC の基礎知識をお持ちの方で、これからタッチパネルを扱った業務に携わる方		
講習内容等	タッチパネルを使用するための知識をタッチパネル画面の作画や設定をしながら学びます。また、実習を通してタッチパネルを使った PLC 制御の知識と技術を習得します。 ・タッチパネルの概要（システム構成、基本操作） ・タッチパネル画面作成ツールの操作方法 ・作画実習（スイッチ、ランプ、数値表示・入力、コメント、アラーム、グラフ、部品表示） ・タッチパネルを使った PLC 制御実習		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	三菱製タッチパネル、三菱製 PLC (Q02)、パソコン、ラダーサポートソフト (GX Works)、画面作成ツール (GT Designer)		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
E0601	平成 29 年 12 月 5 日（火）、6 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,500 円（税込）



受変電設備の実践的保安技術

～高圧受変電設備における保護継電器試験実務を習得するコース～

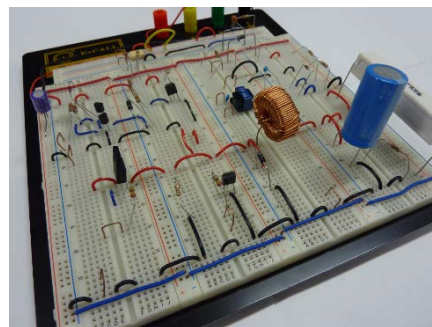
受講対象者	高圧受変電設備（太陽光発電所含む）の保守管理をされている方		
講習内容等	高圧受変電設備は、定期点検や停電試験等をしっかり行わなければ危険な設備です。このセミナーでは、高圧受変電設備の実際の事故例から事故原因とその防止対策、各種保護継電器試験の実務を通じた保安技術を習得します。 ・各種受変電設備機器概要 ・事故の要因とその現象、最近の事故例 ・地絡継電器試験 ・過電流継電器試験 ・SOG 付き PAS の連動試験		
講師	鉤 裕之（公益社団法人 東京電気管理技術者協会）		
【使用機器等】	各種保護継電器、継電器試験機		
【持参品】	筆記用具、受講される方が現場で使用されている試験機があれば、ご持参いただいても結構です。		
コース番号	日 程		
E1103	※日程調整中です。【追加コース】		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(18時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	12,000 円（税込）



実習で学ぶパワーエレクトロニクス回路

～MOS－FETスイッチング技術を用いた電力制御回路の設計手法を習得するコース～

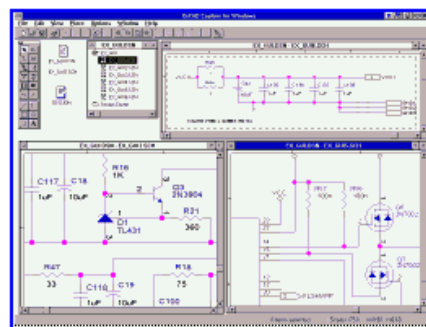
受講対象者	電子機器の回路設計・開発・製造・メンテナンス等に従事する技能・技術者の方		
講習内容等	パワーエレクトロニクス回路の基本とMOS－FETスイッチング回路の動作特性を理解し、チョッパ方式による電力制御の原理と電力制御回路の設計に必要な知識と技能を習得します。 電源回路やモータ駆動回路への応用ができます。 - 電力制御回路の低損失化とスイッチング技術 - MOS－FET基本スイッチング回路 - スイッチング損失とアーム間短絡 - デッドタイム設定回路 - 降圧チョッパ回路と昇圧チョッパ回路		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	テスタ（回路計）、オシロスコープ、ファンクション・ジェネレータ、直流安定化電源等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
E1601	平成 29 年 12 月 13 日（水）、14 日（木）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	10:00～16:45（6時間／日）	10 名	10,000 円（税込）



回路シミュレータを用いた電子回路解析技術

～回路シミュレータの利用方法を習得するコース～

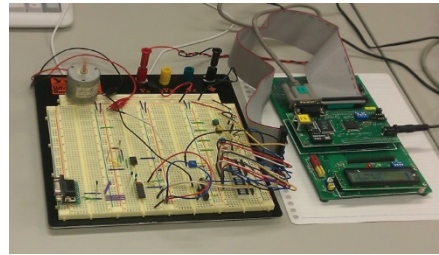
受講対象者	電子回路の設計・開発に回路シミュレータの利用を検討している方		
講習内容等	回路シミュレータを用いると、各種回路の動作をパソコン上で簡単に試すことができるため、電子回路の設計・開発において回路シミュレータは必要不可欠になっています。電子回路の設計・開発に役立つ回路シミュレータを用いた解析方法を習得します。 - 回路シミュレータの概要 - バイアスポイント解析 - DC 解析 - 過渡解析 - AC 解析		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	パソコン、回路シミュレータ		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
E1701	平成 30 年 2 月 21 日（水）、22 日（木）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	10:00～16:45（6時間／日）	10 名	10,000 円（税込）



組込みシステムにおけるプログラム開発技術（H8 編）

～H8 マイコンによる組込みシステム開発技術を習得するコース～

受講対象者	C 言語を用いた H8 マイコンによる組込みシステム開発技術を習得したいと考えている方		
講習内容等	H8/3069F マイコンの PIO（パラレル入出力）、A/D・D/A 変換、割込み処理、タイマー、SCI（シリアルコミュニケーションインターフェイス）、応用技術（DC モータの制御）等、H8 マイコンによる組込みシステムを構築するために必要な C 言語によるプログラム開発技術を習得します。 ★セミナーで使用した H8/3069F マイコンボードは、お持ち帰り頂けます。 【前提知識】 C/C++ 言語によるプログラミング経験 ・ H8 マイコンの基礎知識 ・ 開発環境を利用したプログラム開発技術 ・ PIO（パラレル入出力）、A/D・D/A 変換 ・ 割込み処理、タイマー ・ SCI（シリアルコミュニケーションインターフェイス） ・ 応用技術（DC モータの制御）等		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	H8/3069F マイコンボード、パソコン、開発環境、その他		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
E1901	平成 29 年 11 月 21 日（火）、22 日（水）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(12時間)	10:00～16:45（6時間／日）	10 名	16,000 円（税込）



画像処理・認識プログラム開発技術（Open CV 編）

～Open CV を用いた画像処理・認識プログラム開発技術を習得するコース～

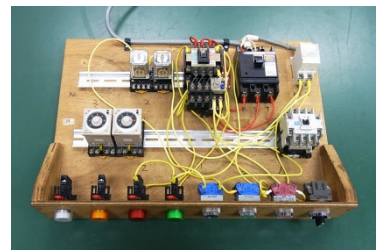
受講対象者	画像処理・認識プログラム開発技術に関連する業務を担当する方		
講習内容等	オープンソースの画像処理・認識ライブラリである Open CV を利用した画像処理・認識プログラムの作成技術について、実習を通じて基礎から習得します。 ★「実習で学ぶ画像処理・認識技術」コースは、今年度は「高度ポリテクセンター（千葉市美浜区 http://www.apc.jeed.or.jp/）」にて実施予定です。 【前提知識】 画像処理・認識の基礎知識、C/C++ 言語によるプログラミング経験 ・ 画像処理・認識システムの基礎知識 ・ Open CV の基礎知識 ・ Open CV の導入と開発環境の構築 ・ Open CV による画像処理プログラム開発 ・ Open CV による画像認識プログラム開発 ・ 関連知識		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	パソコン、汎用画像処理ソフト、統合開発環境、画像処理・認識ライブラリ（Open CV）等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
E2001	平成 30 年 1 月 11 日（木）、12 日（金）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(12時間)	10:00～16:45（6時間／日）	12 名	12,000 円（税込）

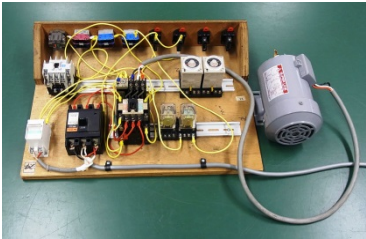


建築設備管理分野（ビルメンテナンス分野）			
現場のための実践的電気計測技術 ～実習を通して電気安全・電気測定技術を習得するコース～			
受講対象者	これから制御技術や建物の電気設備点検に関わる方 【参考】昨年度の受講者例（職務） オフィスビルの設備管理職務、工場設備保全職務、電気工事作業職務等		
講習内容等	一般的な電気知識（第二種電気工事士程度）を習得し、電気作業、電気設備の現場作業に必要な安全対策及び測定技術について実習を通して習得します。 ・電気の知識 （１）工場・ビルなどにおける低圧屋内配線について （２）機器の構造（配線用遮断器、漏電遮断器） （３）短絡・漏電事故と対策、感電の人体反応と対応策 ・総合実習 （１）現場における測定実習 （負荷電流測定、漏電電流測定、絶縁抵抗測定） 屋内配線不良個所の検出と対応策 （ケーブル選定、遮断器選定、回路計の活用）		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	回路計、絶縁抵抗計、接地抵抗計、クランプメータ、検相器等		
【持参品】	筆記用具、電気測定作業が可能な服装		
コース番号	日 程		
HO104	平成 29 年 11 月 25 日（土）、26 日（日）		
HO105	平成 30 年 1 月 20 日（土）、21 日（日）		
HO106	平成 30 年 3 月 3 日（土）、4 日（日）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	7,500 円（税込）



建築設備管理分野（ビルメンテナンス分野）			
有接点シーケンス制御の実践技術 ～シーケンス制御回路の設計及び配線等の実践を通して回路の理解、保守管理までを習得するコース～			
受講対象者	各種機械にシーケンス制御の導入を検討されている方、同保守管理業務の技術者の方		
講習内容等	自動生産システムの基盤となる有接点シーケンス制御について、制御システムを構成する機器の構造やシーケンス図の見方、書き方、配線方法を学び、タイムチャートからシーケンス図を作成し配線方法等を習得します。また、誤配線、機器異常のチェック方法について習得します。 ・制御機器の種類、構造と選定 ・シーケンス図の見方、書き方 ・自動制御回路の配線方法 ・タイムチャートから読み取るシーケンス制御回路設計 ・トラブルのない配線をするための技能・技術 ※本コースは、EO101「有接点シーケンス制御の実践技術」と同等の内容です。 ただし、実習で使用するリレー等の機器は、定格 200V です。		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	電磁リレー、タイマ、スイッチ、表示灯、テスト、工具等		
【持参品】	筆記用具、電気配線作業が可能な服装		
コース番号	日 程		
HO203	平成 29 年 10 月 14 日（土）、15 日（日）		
HO204	平成 29 年 11 月 25 日（土）、26 日（日）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(15時間)	9:10～17:30（7.5 時間／日）	10 名	11,000 円（税込）



建築設備管理分野（ビルメンテナンス分野）			
有接点シーケンス制御による電動機制御の実務 ～建築設備におけるシーケンス制御の実務知識を習得するコース～			
受講対象者	「有接点シーケンス制御の実践技術」の受講修了者、もしくはそれと同等の知識・技能を有する方		
講習内容等	建築設備の保守・メンテナンスを行う上で欠かすことのできない設備機器の電気制御（シーケンス制御）の知識を、実機や実習機を用いて習得します。 ・三相誘導電動機の知識 ・三相誘導電動機の始動法（直入れ始動、Y-Δ始動） ・電動機の遅延投入 ・一定時間運転制御 ・フロートレススイッチを使用したポンプ設備の制御方法 ・回路の保守・メンテナンス手法 ・安全衛生等 		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	三相誘導電動機（かご型）、フロートレスユニット（オムロン社製）、テスト等		
【持参品】	筆記用具、電気配線作業が可能な服装		
コース番号	日 程		
H0302	平成 30 年 1 月 20 日（土）、21 日（日）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(15時間)	9:10～17:30（7.5 時間／日）	10 名	11,000 円（税込）

建築設備施工分野			
実践的な冷媒配管の施工と空調機器据付け技術（ルームエアコン編） ～効率的なルームエアコン据付け手法を習得するコース～			
受講対象者	これからルームエアコンの据付け作業に携わる方		
講習内容等	ルームエアコンの据付け作業に従事する場合、作業ができることはもちろんですが、施工不良や環境破壊を未然に防止するためにも冷凍サイクルや冷媒（フルオロカーボン）の特性などを理解しておくことが欠かせません。本講習ではルームエアコン（壁掛け）の据付け作業を通して、上記内容を実学一体で習得し、効率的な施工方法を習得します。 ・冷凍サイクルとフルオロカーボンについて ・壁掛けルームエアコン据付け作業 ・冷媒配管加工作業（フレア加工） ・冷媒充填作業 ・試運転作業（計測） 1 人 1 台ずつ壁掛け式ルームエアコンを据付けし、試運転・測定後、撤去までの作業を行っていただきます。 		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	ルームエアコン、フレアツール、ゲージマニホールド、真空ポンプ等		
【持参品】	筆記用具、エアコン据付け作業が可能な服装		
コース番号	日 程		
H0503	平成 29 年 10 月 28 日（土）、29 日（日）		
H0504	平成 29 年 12 月 9 日（土）、10 日（日）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(15時間)	9:10～17:30（7.5 時間／日）	5 名	21,500 円（税込）

建築設備施工分野			
実践的な冷媒配管の施工と空調機器据付け技術（パッケージエアコン編） ～パッケージエアコン手法を習得するコース～			
受講対象者	これからパッケージエアコンの据付け作業に携わる方		
NEW 講習内容等	本講習ではパッケージエアコン（天井カセットタイプ）の据付け作業を通して、効率的な施工方法を実学一体で習得します。 ・冷凍サイクルとフルオロカーボンについて ・パッケージエアコン（天井カセットタイプ）据付け作業 ・冷媒配管加工作業（フレア加工） ・冷媒充填・回収作業 ・試運転作業（計測） エアコンの据付け作業が、未経験の方は、「実践的な冷媒配管の施工と空調機器据付け技術（ルームエアコン編）」を先に受講して下さい。		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	ルームエアコン、フレアツール、ゲージマニホールド、真空ポンプ等		
【持参品】	筆記用具、エアコン据付け作業が可能な服装		
コース番号	日 程		
H0602	平成 30 年 2 月 17 日（土）、18 日（日）		
日 数	時 間	定 員	受 講 料
2日間(15時間)	9:10～17:30（7.5 時間/日）	5 名	25,000 円（税込）



建築設備施工分野		
冷媒配管の加工・接合技術 ～空調工事のための配管加工・接合技術～		
受講対象者	「実践的な冷媒配管の施工と空調機器据付け技術」の受講修了者、もしくはそれと同等の知識・技能を有する方	
講習内容等	各種エアコンの据付け作業やメンテナンス作業において必要となる、冷媒配管の加工（フレア加工・曲げ加工）接合（フレア接合・ろう付け接合）技能を、課題作成等を通して習得します。 ・フレア接合作業 ・ベンダーを用いた曲げ加工作業 ・各姿勢によるろう付け接合作業 ・酸化防止処置について ・課題演習（右図参照）	
講師	ポリテクセンター千葉	
【使用機器等】	フレアツール、ベンダー、エキスパンダー、ろう付け器具、気密試験用器具等	
【持参品】	筆記用具、作業服、皮手袋、ガス溶接技能講習修了証（修了証保有者）	
コース番号	日 程	※受 講 料
H0703	平成 29 年 12 月 2 日（土）、3 日（日）	17,500 円（税込）
H0704	平成 30 年 2 月 22 日（木）、23 日（金）	15,000 円（税込）
日 数	時 間	定 員
2日間(12時間)	9:10～16:00（6 時間/日）	5 名



太陽光発電システムの設計と施工

～太陽光発電パネルの仕組みと実際の設置の仕方について体系的に習得するコース～

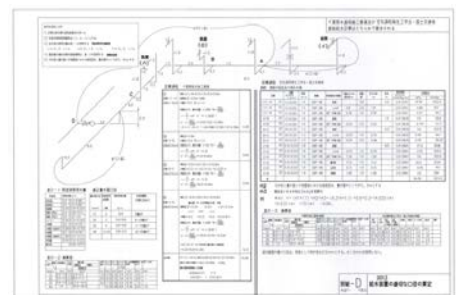
受講対象者	これから太陽光発電パネルに関する事業をご検討されている企業の技術者の方		
講習内容等	小型太陽光発電システムの効率化・最適化をめざして、システム構成、設計、施工及び関連法規について習得します。また、屋根の形状や種類等の知識や、配電システムについて習得します。 ・太陽光発電システムの構成について ・太陽光発電システムの設置に関わる関係法令について ・太陽光発電システムの点検方法について ・模擬屋根を使った屋根材（和瓦、スレート瓦）の葺き替えや防水シートの張り替え、屋根の構造について ・模擬屋根にて太陽光発電パネルを取り付ける方法について		
講師	NPO法人 太陽光発電所ネットワーク／ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	太陽光発電設備一式、実習用模擬屋根（スレート瓦・和瓦）、電動工具一式		
【持参品】	学科時：筆記用具、電卓 実習時：作業服（動きやすく汚れてもよいもの）、運動靴		
コース番号	日 程		
H0802	平成 29 年 10 月 14 日（土）、21 日（土）、28 日（土）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(18時間)	9:10～16:00（6時間／日）	15 名	14,000 円（税込）



給排水衛生設備設計実践技術

～ビル・集合住宅・戸建住宅等の設備設計及び施工管理等の知識を習得するコース～

受講対象者	ビル・集合住宅・戸建住宅等の設備設計及び施工管理の知識を習得したい方		
講習内容等	建築設備の概要、給排水衛生設備、空気調和設備の特徴について、現場における生産性向上に役立つ知識、技能を習得します。 ・建築設備とは ・法による規制 ・公共設備施設の調査概要（上下水道、ガス本管等） ・給排水衛生設備 ・空気調和設備 ・電気設備・ガス設備 ・事例課題		
講師	(株)ピーエル建築設備研究室 森田 京二		
【使用機器等】			
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
H0902	平成 30 年 2 月 10 日（土）、11 日（日）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(15時間)	9:10～17:30（7.5 時間／日）	10 名	14,500 円（税込）



建築設計・構造技術分野			
室内の温熱環境設計技術 ～ビル・集合住宅等の設備設計及び施工管理等の知識を習得するコース～			
受講対象者	ビル・集合住宅の空調設備設計及び施工管理の知識を習得したい方		
講習内容等	事務所、店舗などで、床面積がある一定以上の場合、「建築物衛生法」によって空気質の管理基準が定められているため、建築物に空調設備を導入する必要があります。省エネルギー利用に基づく、建物の断熱、遮熱を考えながら、空調負荷計算、実務上の問題点を上げます。 ・法による規制 ・空調設備の目的 ・空調設備の構成 ・空調負荷計算 ・換気、排煙設備について ・実例課題		
講師	(株)ビーエル建築設備研究室 森田 京二		
【使用機器等】			
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
H1002	平成 29 年 12 月 16 日（土）、17 日（日）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間/日）	10 名	13,500 円（税込）



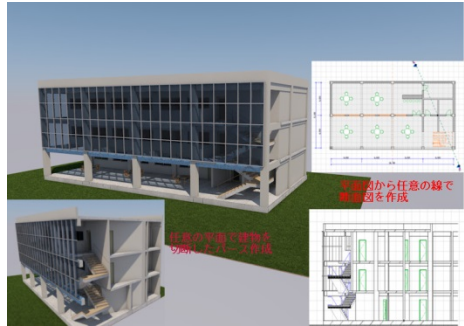
建築設計・構造技術分野			
実践建築一般図・詳細図作成技術（2次元CAD） ～Jw_cad を用いて木造住宅の平面図・立面図の描き方を習得するコース～			
受講対象者	建築業に従事している方、及びこれから建築業に従事しようとする方		
講習内容等	建築設計の効率化・最適化をめざして、各図面における作成手法を習得します。 ・建築一般図について ・建築図面に用いる用紙、図面尺度と図面範囲設定 ・建築図面に用いる線種と線種設定 ・建築図面に用いる要素とレイヤー設定 ・記号及び寸法と寸法設定 ・印刷設定と印刷		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	CADソフト Jw_cad		
【持参品】	筆記用具 参考書「Jw_cad で学ぶ建築製図の基本【最新版】（エクスナレッジ）をご準備ください。（定価：3,300 円+税）		
コース番号	日 程		
H1104	平成 29 年 10 月 14 日（土）、15 日（日）		
H1105	平成 29 年 12 月 2 日（土）、3 日（日）		
H1106	平成 30 年 2 月 17 日（土）、18 日（日）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間/日）	10 名	8,000 円（税込）



建築設計・構造技術分野			
実践建築製図作成技術（2次元CAD） ～AutoCADを用いて木造住宅の平面図の描き方を習得するコース～			
受講対象者	建築業に従事している方、及びこれから建築業に従事しようとする方		
講習内容等	建築設計の効率化・最適化をめざして、各図面における作成手法を習得します。  ・建築一般図について ・2次元CADの概要 ・AutoCAD2015の2次元の操作及び各種設定作業 ・CADによる作図（作図、編集、寸法記入等） ・印刷設定と印刷		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	CADソフト AutoCAD 2015		
【持参品】	筆記用具 参考書「AutoCAD LTで学ぶ建築製図の基本【AutoCAD LT2015対応】」（エクスナレッジ）をご準備ください。（定価：3,300円+税）		
コース番号	日 程		
H1204	平成29年11月18日（土）、19日（日）		
H1206	平成30年3月17日（土）、18日（日）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10名	8,000円（税込）

建築設計・構造技術分野			
実践建築設計のプレゼンテーション ～木造住宅をクライアントに提案する際のプレゼンテーションの知識を習得するコース～			
受講対象者	建築業に従事している方、及びこれから建築業に従事しようとする方		
講習内容等	クライアントに建物を提案する際の提案ツールの作成技術を習得します。  ・プランニング ・配置図、各階平面図、断面図、立面図作成 ・3次元モデリングの作成 ・パースの作成		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	CADソフト 3DマイホームデザイナーPRO8		
【持参品】	筆記用具 参考書「3DマイホームデザイナーPRO8オフィシャルガイドブック」（エクスナレッジ）をご準備ください。（定価：3,400円+税）		
コース番号	日 程		
H1302	平成30年2月3日（土）、4日（日）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10名	8,000円（税込）

建築設計・構造技術分野			
実践建築設計のプレゼンテーション〈ArchiCAD 編〉 ～BIMを使用した設計イメージを習得するコース～			
受講対象者	建築設計に従事している方、及びこれから建築設計に従事しようとする方（BIM導入を検討している方）		
講習内容等	クライアントに建物を提案する際の可視化した3次元パース作成について習得します。 - 敷地作成 - 柱／梁／スラブ／壁／階段の作成及び材質の設定 3次元表示による確認／レンタリング - 立面図／断面図の生成 - 各部材の体積／面積の集計表や建具表の作成		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】	BIMソフトARCHICAD20、開発元グラフィソフトジャパン(株)作成の演習資料「ARCHICAD Magic」		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
H1402	平成30年1月6日（土）、7日（日）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10名	8,000円（税込）



建築設計・構造技術分野			
木造住宅における性能表示（構造の安定編） ～木造住宅の構造計画における性能表示の知識と手順を習得するコース～			
受講対象者	木造住宅の構造計画に係る業務に従事している方、及びこれから従事しようとする方		
講習内容等	木造住宅の計画・設計業務における問題解決と業務の改善、品質の向上をめざして、木造住宅のための性能表示、長期優良住宅に対応した構造計画手法と設計の手順を習得します。 - 木造住宅の住宅性能表示 - 構造の安定に関すること - 壁量のチェック - 床倍率のチェック - 接合部のチェック		
講師	ポリテクセンター千葉		
【使用機器等】			
【持参品】	電卓、筆記用具 参考書「ひとりで学べる木造の壁量設計演習帳」（日本建築センター）をご準備ください。（定価：3,333円+税）		
コース番号	日 程		
H1601	平成29年10月14日（土）、21日（土）		
日 数	時 間	定員	受講料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10名	8,000円（税込）

建築設計・構造技術分野			
建築積算（躯体）実践技術 ～建築積算の基礎から実践まで～			
受講対象者	建築積算の実践技術を習得したい方		
NEW 講習内容等	建築積算は、設計図から建築物の各部材の数量を拾い出し、工事の受注金額決定や材料発注の基礎資料を作成する重要な仕事です。また、建築積算技術は設計図書の読解力の向上に役立つため、CAD オペレータや建築初任者の能力育成にも有効です。 本セミナーは、建築積算の基本から実践技術までを解説します。 ・建築数量積算基準について ・仮設・土工・地業の積算 ・コンクリート・型枠の積算 ・鉄筋の積算 ・集計表、内訳書の作成 （建築積算士試験の躯体積算レベルの内容です）		
講師	（公社）日本建築積算協会 元建築積算学校校長 吉田幸一		
【持参品】	『建築積算士ガイドブック』公益社団法人日本建築積算協会 4,940円 お持ちでない方は、（公社）日本建築積算協会のHP（ http://www.bsij.or.jp/reporting/books.html ）から申込用紙をダウンロードの上、お申し込みください。		
コース番号	日 程		
H1701	平成29年 10月7日（土）、14日（土）、21日（土）、28日（土）【追加コース】		
日 数	時 間	定員	受 講 料
4日間（24時間）	9:10～16:00（6時間／日）	15名	15,000円（税込）



建築設計・構造技術分野			
建築積算（仕上げ）実践技術 ～建築積算の基礎から実践まで～			
受講対象者	建築積算の実践技術を習得したい方		
NEW 講習内容等	建築積算は、設計図から建築物の各部材の数量を拾い出し、工事の受注金額決定や材料発注の基礎資料を作成する重要な仕事です。また、建築積算技術は設計図書の読解力の向上に役立つため、CAD オペレータや建築初任者の能力育成にも有効です。 本セミナーは、建築積算の基本から実践技術までを解説します。 ・建築数量積算基準について ・外装積算 ・内装積算 ・建具の積算 ・集計表、内訳書の作成 （建築積算士試験の仕上げ積算レベルの内容です）		
講師	（公社）日本建築積算協会 元建築積算学校校長 吉田幸一		
【持参品】	『建築積算士ガイドブック』公益社団法人日本建築積算協会 4,940円 お持ちでない方は、（公社）日本建築積算協会のHP（ http://www.bsij.or.jp/reporting/books.html ）から申込用紙をダウンロードの上、お申し込みください。		
コース番号	日 程		
H1801	平成29年 11月11日（土）、18日（土）、25日（土）【追加コース】		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間（18時間）	9:10～16:00（6時間／日）	15名	11,500円（税込）



生産管理分野			
仕事と人を動かす現場監督者の育成 ～ものづくり＝人づくり～			
受講対象者	製造現場監督に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	製造現場における作業の段取りや指示、後進育成の技能継承をめざして、現場のリーダーとして身につけておくべきスキルを確認し、監督者として生産性向上を実践する担当者との関わり方や現場を動かすための技能を習得します。 ・オリエンテーション ・製造現場監督（主任）の役割 ・製造現場監督（主任）に求められている仕事 ・自分の職場をチェックする ・より良い現場監督（主任） ・自己啓発計画の作成 ・改善心得 47 ケ条 ・まとめ		
講師	NPO テクノサポート（竹田 哲司）		
【使用機器等】	プロジェクター等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
S0102	平成 29 年 10 月 24 日（火）、25 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,000 円（税込）



生産管理分野			
実践 生産性改善 ～全体最適化視点からのムダ取りでローコスト体質へ～			
受講対象者	生産現場の運営・管理・改善業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	生産工程の効率化・最適化をめざして、多種少量、短納期といった市場の要望に低コストですばやく対応するため、生産現場の見えない問題を見える化する際の視点と考え方並びに全体最適を考慮に入れた生産性の高い生産現場の構築方法について習得します。 ・製造業の背景 ・生産性向上のための現場運営の視点 ・生産現場の構築演習 ・生産現場の評価と視点と改善方法 ・生産性改善実習 ・改善性計画の立て方 ・まとめ		
講師	NPO テクノサポート（辻 伸次）		
【使用機器等】	ポストイット、A3 白紙、電卓、パソコン、PC 用 OHP 等		
【持参品】	筆記用具、電卓		
コース番号	日 程		
S0202	平成 29 年 10 月 17 日（火）、18 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,000 円（税込）

生産管理分野			
製造現場における工程管理技法と改善 ～負荷変動への対応とQCD実現～			
受講対象者	生産現場において生産管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	生産現場における生産工程の最適化・効率化及び改善をめざして、自社の生産現場の現状を踏まえた工程を管理する手法について習得します。 ・生産計画（P） ・生産統制（D） ・生産評価・分析（C） ・生産管理改善（A） ・まとめ		
講師	NPO テクノサポート（辻 伸次）		
【使用機器等】	ポストイット、A3 白紙、電卓、パソコン、PC 用 OHP 等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
S0302	平成 29 年 11 月 7 日（火）、8 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,000 円（税込）

生産管理分野			
営業活動と連動した戦略的生産管理 ～受注情報活用でQCDの実現を楽に～			
受講対象者	生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	親企業からの受注情報（予告・内示・確定・納入指示）を活用し、必要最小限の在庫で、かつ納期遵守・品質確保・コスト低減を実現し、利益体質を維持向上できるように各業務を迅速かつ連携をもって進め、企業の実力を発揮できる生産管理システムを構築するための知識と技術を習得します。併せて、自社製品については、需要（販売）予測手法から販売計画、在庫計画、生産計画のあり方、及び適正在庫の設定方法についても習得します。 ・既存生産管理の仕組みと問題点 ・戦略的生産管理業務の構築手順 ・全体最適な視点でのバランス ・まとめ		
講師	NPO テクノサポート（辻 伸次）		
【使用機器等】	ポストイット、A3 白紙、電卓、パソコン、PC 用 OHP 等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
S0402	平成 29 年 12 月 5 日（火）、6 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,000 円（税込）

生産管理分野			
製造業におけるコスト原単位の捉え方と活用 ～製品コストが分かれば削減できる～			
受講対象者	生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	製造業における生産効率の向上、低コスト効率化をめざして、コスト原単位について理解し、生産現場における問題点の具体的解決手順や実践的解決法を習得します。 ・製造業におけるコストダウンの考え方 ・実践的な管理の進め方 ・製造業における改善ポイントの考え方 ・コストダウンを実現する製造現場での解決手順 ・実践的な実習と成果発表 ・まとめ		
講師	NPO テクノサポート（辻 伸次）		
【使用機器等】	ポストイット、A3 白紙、電卓、パソコン、PC 用 OHP 等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
S0502	平成 30 年 2 月 6 日（火）、7 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(15時間)	9:10～17:30（7.5 時間／日）	10 名	9,000 円（税込）

生産管理分野			
現場の問題解決実践（5 Sの実践と定着） ～工場現場の改善の基礎 5S と見える化～			
受講対象者	品質管理や生産管理の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	生産現場における現場改善の技能伝承をめざして、現場の問題把握・改善技法及び後輩育成のための指導技法を習得します。 ・概要 ・現場改善技法のポイント（なぜ改善が定着しないのか） ・現場改善指導 ・現場改善の実践方法（5S と見える化の実践方法） ・掃除＝5S＝環境整備 ・企業の中の見える化 ・総合演習（ケーススタディ） ・まとめ		
講師	NPO テクノサポート（竹田 哲司）		
【使用機器等】	ポストイット、A3 白紙、電卓、パソコン、PC 用 OHP 等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
S0602	平成 29 年 11 月 14 日（火）、15 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6 時間／日）	10 名	8,000 円（税込）

生産管理分野			
ヒューマンエラー防止実践手法 ～事例から学ぶ～			
受講対象者	製造現場において安全管理や作業管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	製造現場の安全性向上（作業環境対策）をめざして、ヒューマンエラーの現状や発生のメカニズムを認識し、エラー低減に必要な防止策（現場改善等）を講じるための能力を習得します。 ・導入と認識（災害・事故の原因とヒューマンエラー） ・脳の働きとエラー・エラーのメカニズム（ヒューマンエラーの発生メカニズムとエラーの本質） ・製造業におけるエラーの分類・エラーの防止策（注意力を高める工夫、ヒューマンファクターズ活用によるエラーの防止） ・課題の把握・解決策検討・職場改善演習（現場におけるヒューマンエラー防止策の実際） ・まとめ		
講師	NPO テクノサポート（矢作 良平）		
【使用機器等】	ポストイット、A3 白紙、電卓、パソコン、PC 用 OHP 等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
S0702	平成 29 年 12 月 19 日（火）、20 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,000 円（税込）

生産管理分野			
高生産性を維持するための設備管理と故障診断			
受講対象者	製造現場の設備管理の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	設備管理の進め方について理解・実践力向上をめざして、その中で生産保全の実現に不可欠な設備診断の位置づけ及び運用方法を習得します。 ・設備管理概要：設備管理の目的、設備の劣化と修復・改良保全、ライフサイクルコスト ・機械保全に関する用語：生産保全、保全方式、信頼性、保全性、故障解析、保全計画 ・設備管理システム：設備管理システムの意義・概要、サブシステムの構成と機能 ・生産保全の展開：生産保全の内容、TBM（時間基準保全）、CBM（状態監視保全） ・設備点検、診断：点検・診断システム運用フロー、関連標準、保全資材管理、べからず集 ・設備診断技術：技術体系、振動診断概論、設備診断方法と適用事例、振動診断システム、油脂・作動油の性状簡易診断 ・レポート作成及び討論会、質疑応答		
講師	NPO テクノサポート（藤澤 昭雄）		
【使用機器等】	パソコン、プロジェクター等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
S0802	平成 29 年 10 月 11 日（水）、12 日（木）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,000 円（税込）

生産管理分野			
安全確保のための現場改善手法			
受講対象者	ものづくり製造現場に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	製造工程の安全性向上（作業環境対策）をめざして、現場の見える化及び環境変化に伴う改善方法を習得します。 ・SEQCDの必要性（生産現場を取り巻く環境の変化、安全管理の課題） ・小集団による安全活動（ヒヤリハットの抽出、KY活動&TBM） ・安全活動の継続（失敗の事例に学ぶ、4M4E分析で見える化） ・まとめ		
講師	NPO テクノサポート（椎野 正俊）		
【使用機器等】	パソコン、プロジェクター等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
S0902	平成 29 年 10 月 31 日（火）、11 月 1 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,000 円（税込）

生産管理分野			
自主保全・現場改善活動による総合的生産保全技術			
～自主保全・個別改善活動で企業体質向上～			
受講対象者	ものづくり生産現場に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	生産現場における生産効率化改善をめざして、人と設備の体質改善の手法である「TPM活動」を理解し、自主保全及び個別改善の進め方や設備の管理技術を習得します。 ・TPM活動の概要：TPMの理念・視点、設備総合効率向上 ・TPM活動の取組：12ステップ展開、マスタープラン、目標設定、推進体制 ・自主保全活動の進め方：7ステップ展開、ステップ診断、標準化、設備に強い人づくり ・個別改善活動の進め方：テーマ設定～現状把握～目標設定～要因解析～対策立案 ・レポート作成及び討論会、質疑応答、課題達成の進め方		
講師	NPO テクノサポート（藤澤 昭雄）		
【使用機器等】	パソコン、プロジェクター等		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
S1002	平成 29 年 11 月 21 日（火）、22 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,000 円（税込）

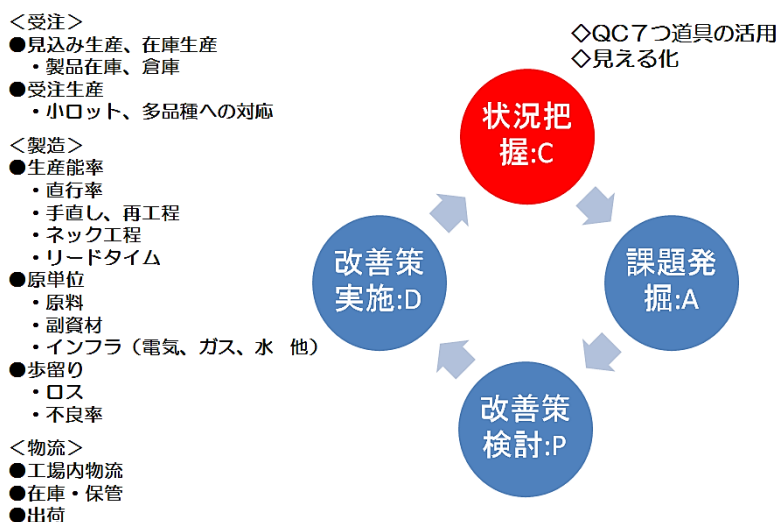
生産管理分野			
製造現場のマネジメントシステムを活用した品質管理技術			
受講対象者	生産工程の改善や品質管理の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、又はその候補者の方		
講習内容等	生産工程の効率化（改善）をめざして、マネジメントシステムの構築に必要な事項及びマニュアル作成手法を理解するとともに、構築したシステムの有効性の検証方法について、改善事例を通して習得します。 ・業務確認（組織の業務の流れ） ・4M管理の概要（人の管理、方法・手法の検討・改善、機械・設備の管理、等） ・品質マネジメントシステムの構築（ISO9001 の概要、資源の運用管理、等） ・QMS 作成実習（マニュアル化に必要な要素、顧客要求事項の明確化、等） ・改善事例 ・まとめ		
講師	NPO テクノサポート（内田 均）		
【使用機器等】	パソコン、プロジェクター等		
【持参品】	筆記用具、電卓		
コース番号	日 程		
S1102	平成 29 年 12 月 12 日（火）、13 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10 名	8,000 円（税込）

オーダーメイドコース（生産性向上支援訓練）のカリキュラム例 1

オーダーメイドコース（生産性向上支援訓練：生産管理）			
生産現場の問題解決			
～「見えないムダ」を「見える化」するための視点と手法～			
受講対象者	初任層から中堅層（会社からの指示により受講される方（個人での受講はできません））		
講習内容等	生産性を向上させるためには、生産現場に潜む各種のムダを取り除くことが必要です。この講座では、「見えないムダ」を「見える化」するための視点と手法、ならびに全体最適を考慮に入れたムダの取り除き方を習得します。 生産活動の基本 - 生産活動の基本（能率、原単位、歩留り、品質） 現状分析とムダの発見 - ムダとは何か - 現状分析（QC7つ道具の活用） - ムダの発見と見える化 生産現場の改善 - 改善の手順（PDCA サイクル） - 効果的な改善のためのポイント 演習や事例紹介の例 - 課題を通じた生産現場の改善演習 - 現場のムダ排除のための改善グループ演習 - 自職場における現状分析とムダの発見 - 作業分析のシミュレーション - 生産活動業務改善ソリューションの紹介 - 生産現場の改善事例紹介		
講師	専門的な技術やノウハウを持つ民間機関等		
実施場所	お客様の自社会議室や外部の施設など、ご要望に合わせて設定できます		
持参品	筆記用具		
コース番号	日 程		
SP-1	平成 30 年 2 月末日までの間で、お申込み事業所様と講師の日程を調整し決定します		
訓練時間	実施時間帯	定員	受講料
12時間	ご要望に合わせて設定できます	10～20名	5,400 円（税込）

※生産性向上支援訓練については 52 ページをご覧ください。

生産性分析



生産性向上支援訓練 Q&A

Q:訓練時間は変更できますか？

A:ご要望に合わせて 12～30 時間の範囲内で、座学と演習とを組み合わせたコースで実施できます。

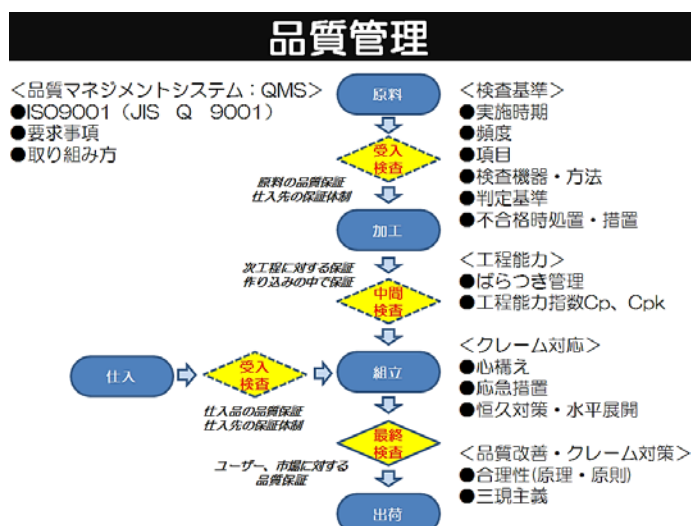
受講料は 1 人あたり、
 12～18 時間コース: 5,400 円
 (税込)
 19～30 時間コース: 6,480 円
 (税込)

となります。

オーダーメイドコース（生産性向上支援訓練）のカリキュラム例2

オーダーメイドコース（生産性向上支援訓練：品質保証・管理）			
品質管理基本 ～QC7つ道具とその使い方～			
受講対象者	初任層（会社からの指示により受講される方（個人での受講はできません））		
講習内容等	品質管理の考え方を理解し、QC7つ道具を使って課題への対処ができる知識と技能を習得します。 品質管理の考え方 - 品質マネジメントシステム（QMS） - ISO9001（JIS Q9001）要求事項への取り組み方 品質管理の手法 - QC7つ道具と使い方 - QC的問題解決の進め方 - ばらつき管理 - 工程能力指数 Cp,Cpk クレーム対応と心構え - 応急措置 - 恒久対策と水平展開 品質改善 - 合理性（原理、原則） 3現主義 演習や事例紹介の例 - 表計算によるQC7つ道具の使い方演習（管理図、パレート図等） - 特性要因図を用いた問題発見演習 - QC7つ道具を用いた自職場の問題発見と管理 - 新QC7つ道具の概要 - ビッグデータを用いた品質管理の最新動向 - QC7つ道具を使った品質管理手法の好事例紹介		
講師	専門的な技術やノウハウを持つ民間機関等		
実施場所	お客様の自社会議室や外部の施設など、ご要望に合わせて設定できます		
持参品	筆記用具		
コース番号	日 程		
SP-2	平成30年2月末日までの間で、お申込み事業所様と講師の日程を調整し決定します		
訓練時間	実施時間帯	定員	受講料
12時間	ご要望に合わせて設定できます	10～20名	5,400円（税込）

※生産性向上支援訓練については52ページをご覧ください。



生産性向上支援訓練 Q&A

Q:受講者が10名以上必要ですか？

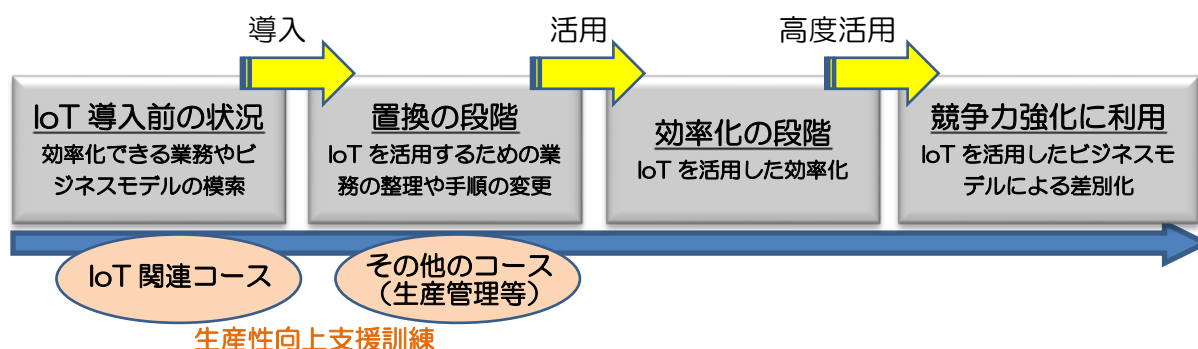
A:受講者が10名未満で生産性向上支援訓練の実施をご希望の場合は、ご相談ください。
また、工業会や工業団地等の団体として複数社から10名以上の受講者でもお申込みいただけます。

オーダーメイドコース（生産性向上支援訓練）のカリキュラム例3

オーダーメイドコース（生産性向上支援訓練：組織マネジメント）			
IoT を活用したビジネスモデル ～中小企業におけるIoTを活用した生産性向上やビジネスの展開をめざして～			
受講対象者	中堅層から管理者層（会社からの指示により受講される方（個人での受講はできません））		
講習内容等	中小企業におけるIoTを活用した生産性の向上やビジネスの展開をめざして、IoT やビッグデータ活用の進展による環境の変化や動向を理解し、IoT 導入を具体的に検討するためのポイントを習得します。 IoT とビッグデータ活用の現状 - IoT とは、ビッグデータとは - IoT やビッグデータによる環境変化と動向 - 中小企業におけるIoT 導入のポイント - 企業におけるIoT 利活用 IoT を活かしたビジネス展開の方向性 - バリューチェーンに沿って各業種にIoT が及ぼす影響 - IoT を活用したビジネスを展開するための制約及び注意点 - スマートファクトリーの現状と実現化に向けた取組み 演習や事例紹介の例 - IoT に対応するビジネス展開のための問題点検証 - 自社におけるIoT 導入の具体的な検討（グループワーク） - センサー活用技術、センサー活用事例の紹介 - データの収集、蓄積、処理に関する技術 - ビッグデータとAI - IoT を活用した企業の成功事例及び失敗事例の紹介		
講師	専門的な技術やノウハウを持つ民間機関等		
実施場所	お客様の自社会議室や外部の施設など、ご要望に合わせて設定できます		
持参品	筆記用具		
コース番号	日 程		
SP-3	平成30年2月末日までの間で、お申込み事業所様と講師の日程を調整し決定します		
訓練時間	実施時間帯	定員	受講料
12時間	ご要望に合わせて設定できます	10～20名	5,400 円（税込）

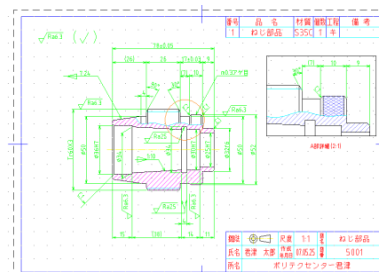
※生産性向上支援訓練については52ページをご覧ください。

生産性向上支援訓練を活用したIoT導入のイメージ

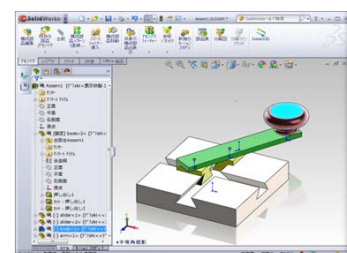


【※下記のコースは、ポリテクセンター君津において実施いたします。】

機械設計・製図分野			
実践機械設計技術（2次元設計）			
～JIS 製図規格を理解し、2次元CADによる機械図面作成を習得するコース～			
受講対象者	2次元CAD業務に携わる方及び手書きからCADへの移行を検討されている方		
講習内容等	2次元CADシステム（AutoCAD）を効果的に活用するために、環境構築や作図手法、図面データの活用技術を習得します。 ・2次元CAD概要、JIS製図規格 ・基本操作及び各種設定作業 ・CADによる作図（作図機能、編集機能、寸法記入） ・設計と効率化（ブロック登録と利用） ・印刷設定と出力 ・課題演習及びまとめ		
講師	ポリテクセンター君津		
【使用機器等】	2次元CADシステム（AutoCAD 2012）		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
M-K102	平成29年11月7日（火）、8日（水）、9日（木）		
日 数	時 間	定員	受講料
3日間(18時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10名	14,000円（税込）



機械設計・製図分野			
設計ツールによるモデリング技術			
～設計ツールとして効果的な3次元CADモデルデータの構築技術を習得するコース～			
受講対象者	機械設計業務に携わる方及び3次元CADの導入を検討されている方		
講習内容等	3次元CADシステム（SolidWorks）を効果的に活用し設計業務の効率化を図るための、3次元モデルデータ構築手法を習得します。 ・3次元CAD概要、基本操作 ・スケッチ定義とフィーチャーとソリッドモデリング演習 ・設計変更とフィーチャー履歴の編集 ・マルチボディを活用したモデリング（ブーリアン演算） ・アセンブリモデリングの概要 ・アセンブリ拘束とモデリング演習 ・アセンブリの図面化と分解ビューの作成		
講師	ポリテクセンター君津		
【使用機器等】	3次元CADシステム（SolidWorks）		
【持参品】	筆記用具		
コース番号	日 程		
M-K202	平成29年11月14日（火）、15日（水）、16日（木）		
日 数	時 間	定員	受講料
3日間(18時間)	9:10～16:00（6時間／日）	10名	14,000円（税込）



【※下記のコースは、ポリテクセンター君津において実施いたします。】

機械加工分野			
実践旋盤加工技術（加工精度編） ～旋盤による加工方法、切削条件の決め方及び外径加工、内径加工等の実践的な加工法を習得するコース～			
受講対象者	汎用旋盤作業に従事する方、またはこれから汎用旋盤作業に従事する方		
講習内容等	旋盤の操作方法、四爪チャックによる心出し作業、切削条件の設定方法及び内・外径加工、溝入れ加工、段付け加工に必要な実践的な知識・技能・技術を習得します。 ・旋盤加工の概要について ・旋盤加工の切削条件について ・旋盤加工の操作方法及び心出し方法について ・端面加工、内・外径加工、溝入れ加工について ・段付け加工について		
講師	ポリテクセンター君津		
【使用機器等】	旋盤（LEO-80A）		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		
コース番号	日 程		
M-K302	平成 29 年 12 月 5 日（火）、6 日（水）、7 日（木）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(18時間)	9:10～16:00（6 時間／日）	6 名	17,000 円（税込）



機械加工分野			
実践フライス盤加工技術 ～フライス盤における代表的な工具を用いた加工実習コース～			
受講対象者	フライス盤作業に従事する方、またはこれからフライス盤作業に従事する方		
講習内容等	立てフライス盤を用いた加工に関する基礎的なノウハウを学び、加工課題の製作を通して、正面フライス及びエンドミルを用いたフライス加工に関する知識と技能を習得します。 ・フライス盤の概要 ・主な使用工具の概要（正面フライス及びエンドミル） ・フライス盤の切削作用及び切削条件 ・六面体加工（正面フライス） ・段付・直溝加工（エンドミル）		
講師	ポリテクセンター君津		
【使用機器等】	ひざ形立てフライス盤（平岡工業 2MF-V）		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		
コース番号	日 程		
M-K402	平成 29 年 12 月 12 日（火）、13 日（水）、14 日（木）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
3日間(18時間)	9:10～16:00（6 時間／日）	6 名	17,000 円（税込）



溶接・熱処理技術分野			
被覆アーク溶接実践技術（各種姿勢溶接） ～被覆アーク溶接の知識と技能を習得するコース～			
受講対象者	アーク溶接作業にこれから従事する方、または現在従事している方		
講習内容等	被覆アーク溶接の技能高度化をめざして、受講者の技能レベルを診断し、その結果に基づいて各課題実習を通して、被覆アーク溶接に対しての技能を補い、実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。 ・被覆アーク溶接の知識、溶接条件 ・下向き・立向き・横向き溶接（板材） ・製品の評価方法（外観検査、曲げ試験） ・問題点の把握と解決手法 ※本コースは、特別教育の資格取得コースではありません。		
講師	ポリテクセンター君津		
【使用機器等】	被覆アーク溶接装置一式、安全保護具、器工具一式、溶接継手曲げ試験機		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴		
コース番号	日 程		
M-K502	平成 29 年 12 月 6 日（水）、7 日（木）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6 時間／日）	10 名	12,000 円（税込）



溶接・熱処理技術分野			
TIG溶接技能クリニック ～TIG 溶接の知識と技能を習得するコース～			
受講対象者	アーク溶接作業にこれから従事する方、または現在従事している方		
NEW 講習内容等	TIG 溶接の技能高度化をめざして、受講者の技能レベルを診断し、その結果に基づいて各課題実習を通して、TIG 溶接の技能を補い、実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。 ・TIG 溶接の知識（溶接機、溶加棒、シールドガス等） ・ステンレス鋼材の知識、溶接条件 ・水平すみ肉溶接、下向き突合せ溶接（板材） ・製品の評価方法 ・問題点の把握と解決手法 ※本コースは、特別教育の資格取得コースではありません。		
講師	ポリテクセンター君津		
【使用機器等】	TIG 溶接装置一式、安全保護具、器工具一式、溶接継手曲げ試験機		
【持参品】	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴		
コース番号	日 程		
M-K702	平成 29 年 11 月 21 日（火）、22 日（水）		
日 数	時 間	定員	受 講 料
2日間(12時間)	9:10～16:00（6 時間／日）	10 名	12,000 円（税込）

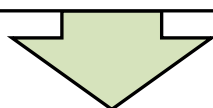


お申し込み方法と受講のご案内

受講申し込みから訓練実施までは次の手順に沿って進めております。注意事項をご確認の上、お間違えのないようお願いいたします。

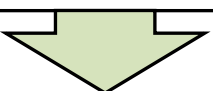
申 込 方 法

1. お申し込みは、原則セミナー開講日の14日前までをお願いいたします。
2. 受講希望コースを選択します。(各コースの内容、日程等を参考にしてください。)
3. 46ページの「能力開発セミナー受講申込書」を必要枚数コピーしてください。
(ポリテクセンター千葉及び君津のホームページからもダウンロードできます。)
4. 必要事項を記入し、ご希望のコースを実施する施設へFAXにてお申し込みください。
(ポリテクセンター千葉FAX: 043-304-2132/ポリテクセンター君津FAX: 0439-57-6386)
5. FAXが届きましたらお電話にて確認をさせていただきます。(定員に達した場合はキャンセル待ちとなります。)



受講案内の送付等

1. 開講が決定した場合、受講日から起算して原則10日前までに「受講のご案内」及び受講料振込用の「払込取扱票」をお送りいたします。(キャンセル待ちの方には送付されません。)
2. 設定コースについて、受講申込者が一定数に達していない場合等には「実施日の変更」または「コースの中止」となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
3. ご案内の書類一式がお手元に届きましたら「払込取扱票」に記載されている金額を、「受講のご案内」に記載した指定日までにお振込ください。(払込手数料は受講者負担でお願いいたします。)
4. 受講料のお振込については、原則として「払込取扱票」にてお願いしておりますが、別途、銀行振込をご希望の場合は、その旨ご連絡ください。



受 講

1. 受講当日は、各コースの講習開始時間までに各会場へ直接、ご集合ください。
2. セミナー会場は、千葉・君津どちらの施設でも本館1階の電光掲示板にてご案内しております。
3. 受付は担当講師が行います。
4. 受講期間中に、都合によりやむを得ず遅刻または早退される場合は、直接担当講師にお申し出ください。担当講師が受講出欠表により出席時間を確認いたします。
5. 出席時間が全受講時間の80%以上を満たしている場合は、修了証書を交付いたします。ただし、全講習時間が12時間のコースについては、全12時間の出席が必要となります。
6. セミナー受講後、担当講師よりアンケートを配布させていただきます。今後のセミナーに役立てて参りますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

受講に関する注意事項について

受講期間中の注意事項

- ◆受講者へのお電話に、お取次ぎやご伝言はいたしかねますのでご了承ください。
(あらかじめ連絡方法をお取り決めの上、ご出席をお願いいたします。)
- ◆受講中の撮影、録音はご遠慮ください。

昼食について

- ◆ポリテクセンター千葉では、あらかじめ昼食をご用意いただくか、平日のみセンター本館内でお弁当の販売を行っておりますので、そちらをご利用ください。
- ◆ポリテクセンター君津では、あらかじめ昼食をご用意いただくか、平日のみ受付にてお弁当の注文を申し受けますので、そちらをご利用ください。

駐車場等について

- ◆ポリテクセンター千葉では、十分な駐車場を確保しておりますので、お車で来られることも可能です。ただし、お停めいただく場所については、指定させていただいておりますので、受講案内に同封しております駐車場の配置図を参考に駐車してください。
- ◆ポリテクセンター君津では、十分な駐車場を確保しておりますので、お車で来られることも可能です。空いている駐車場所に駐車してください。

受講の取消、受講者の変更について

1. 受講の取消について

受講の取消は、コース開講日から起算して10日前までに「能力開発セミナー受講取消・変更届」(48 ページ) に必要事項をご記入の上、それぞれの施設へFAXにてご連絡ください。

この日までに取消手続きがなされない場合、受講料の全額を申し受けることとなりますので、ご注意ください。なお、この場合は、セミナーで使用するテキスト等を送付いたします。

2. 受講者の変更について

受講者の変更は、開講日前日までに「能力開発セミナー受講取消・変更届」(48 ページ) に必要事項をご記入の上、それぞれの施設へFAXにてご連絡ください。

※その他、能力開発セミナー等に関してご不明な点があれば、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

◆ポリテクセンター千葉

訓練第二課(能力開発セミナーに関すること)

TEL: 043-422-4622

FAX: 043-304-2132

生産性向上人材育成支援センター(生産性向上支援訓練に関すること)

TEL: 043-422-4631

FAX: 043-304-2132

◆ポリテクセンター君津

訓練課

TEL: 0439-52-0219

FAX: 0439-57-6386

※受講申し込み施設のチェックボックスにレ点を記入し、それぞれの施設へFAXにてお申し込みください。

- FAX: 0439-57-6386**

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤 務 先	ふりがな				業 種	
	事業所名 (個人の方は氏名)					
	所在地 (個人の方は住所)	〒				
		(TEL: — —) (FAX: — —)				
	申込担当者名	部署課名:		氏 名:		
	企業規模 (該当に○印)	A. 1～29人、B. 30～99人、C. 100～299人、D. 300～499人、E. 500～999人、F. 1,000人以上				
受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示による受講(※1)			2. 個人での自己受講		

※ 受講票、払込取扱票等は、上記申込み担当者様あて(個人の方は申込者様あて)に送付いたします。
なお、別途送付場所を指定される場合は、下記通信欄にご記入ください。

コース番号	コ ー ス 名	開 講 初 日	ふ り が な	生年月日(西暦) 及 び 性 別	センター 記入欄
			受 講 者 名		
		月 日		19 年 月 日 男 ・ 女	
		月 日		19 年 月 日 男 ・ 女	
		月 日		19 年 月 日 男 ・ 女	

通信欄（受講案内送付先、訓練に関連する経験・技能等（※2）、連絡通信事項を記入してください。）

参考までにお伺いします。今回のコースをどのようにしてお知りになりましたか。(該当するものを○で囲んでください。)

①ホームページ ②セミナーパンフレット ③FAXによる広報 ④ポスター ⑤他の団体からの紹介 ⑥その他()

〈連絡事項〉

1. 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「独立行政法人等の保有する個人情報に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に保管し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報について以下の利用目的の範囲内で利用させていただきます。
- ご記入いただいた個人情報は、能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に利用させていただきます。
2. ※1 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
3. ※2 訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職場経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方については差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例:切削加工の作業に約5年間従事)
- (注)訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。
4. 今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。
- ☐希望する ☐希望しない

能力開発セミナー受講申込書

※受講申し込み施設のチェックボックスにレ点を記入し、それぞれの施設へFAXにてお申し込みください。



- ☒ ポリテクセンター千葉
☐ ポリテクセンター君津

FAX: 043-304-2132

FAX: 0439-57-6386

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤 務 先	ふりがな	こようしえん		業 種	一般機械器具製造業
	事業所名	雇用支援 株式会社			
	所在地 (個人の方は住所)	〒263-0004 千葉県稲毛区六方町〇〇〇番地 (TEL: 043 - 〇〇〇 - ×××) (FAX: 043 - 〇〇〇 - △△△)			
	申込担当者名	部署課名:	総務部人事課	氏 名:	雇用 勝男
	企業規模 (該当に○印)	A. 1~29人、 ☒ B. 30~99人、C. 100~299人、D. 300~499人、E. 500~999人、F. 1,000人以上			
	受講区分 (該当に○印)	☒ 1 会社からの指示による受講(※1)		2. 個人での自己受講	

※ 受講票、払込取扱票等は、上記申込み担当者様あて(個人の方は申込者様あて)に送付いたします。
 なお、別途送付場所を指定される場合は、下記通信欄にご記入ください。

コース番号	コ ー ス 名	開 講 初 日	ふりがな 受 講 者 名	生年月日(西暦) 及 び 性 別	センター 記入欄
M0101	〇〇〇〇〇〇〇〇	5 月 〇〇 日	こよういちろう 雇用 一郎	1968年 1 月 1日 ☒ 男 ・ 女	
E0101	〇〇〇〇〇〇〇〇	6 月 ×× 日	こようじろう 雇用 二郎	1977年 3 月 3日 ☒ 男 ・ 女	
H0101	〇〇〇〇〇〇〇〇	7 月 △△ 日	こようはなこ 雇用 花子	1989年 5 月 5日 男 ・ ☒ 女	

通信欄 (受講案内送付先、訓練に関連する経験・技能等(※2)、連絡通信事項を記入してください。)

例)〒〇〇〇-〇〇〇〇 △△市 ×× 番地 (受講案内送付先)
 切削加工の作業に約〇〇年間従事

参考までにお伺いします。今回のコースをどのようにしてお知りになりましたか。(該当するものを○で囲んでください。)

- ①ホームページ ☒ ②セミナーパンフレット ③FAXによる広報 ④ポスター ⑤他の団体からの紹介 ⑥その他()

〈連絡事項〉

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に保管し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報について以下の利用目的の範囲内で利用させていただきます。
 ご記入いただいた個人情報は、能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に利用させていただきます。
- ※1 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
- ※2 訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職場経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方については差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例:切削加工の作業に約5年間従事)
 (注)訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。
- 今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。
☒ 希望する ☐ 希望しない

能力開発セミナー受講取消・変更届

※受講申し込み施設のチェックボックスにレ点を記入し、それぞれの施設へFAXにてご連絡ください。

- ☐ ポリテクセンター千葉
☐ ポリテクセンター君津

FAX: 043-304-2132
 FAX: 0439-57-6386

太枠内をご記入ください。

ふりがな		
事業所名 (個人の方は氏名)		
所在地 (個人の方は住所)	〒	
	(TEL: — —)	(FAX: — —)
申込担当者名	部署課名:	氏名:

下記のセミナーについて、取消・変更したいので連絡します。

※備考欄に取消・変更の別を明記してください。

コース番号	コース名	開講初日	変更前	変更後		備考欄
			ふりがな	ふりがな	生年月日(西暦)	
			受講者名	受講者名	及び性別	
		月 日			19 年 月 日 男 ・ 女	
		月 日			19 年 月 日 男 ・ 女	
		月 日			19 年 月 日 男 ・ 女	

※受講の取消は開講日から起算して10日前までに、受講者の変更は開講日の前日までにご連絡をお願いいたします。

(連絡事項)

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に保管し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報について以下の利用目的の範囲内で利用させていただきます。

ご記入いただいた個人情報は、能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に利用させていただきます。

能力開発セミナー受講取消・変更届

※受講申し込み施設のチェックボックスにレ点を記入し、それぞれの施設へFAXにてご連絡ください。



- ☒ ポリテクセンター千葉
☐ ポリテクセンター君津

FAX:043-304-2132
 FAX:0439-57-6386

太枠内をご記入ください。

ふりがな	こようしえん	
事業所名 (個人の方は氏名)	雇用支援 株式会社	
所在地 (個人の方は住所)	〒263-0004 千葉県稲毛区六方町〇〇〇番地 (TEL: 043 - 〇〇〇 - ×××) (FAX: 043 - 〇〇〇 - △△△)	
申込担当者名	部署課名: 総務部人事課	氏名: 雇用 勝男

下記のセミナーについて、取消・変更したいので連絡します。

※備考欄に取消・変更の別を明記してください。

コース番号	コース名	開講初日	変更前	変更後		備考欄
			ふりがな 受講者名	ふりがな 受講者名	生年月日(西暦) 及び性別	
M0101	〇〇〇〇〇〇〇〇	5月〇〇日	こよう いちろう 雇用 一郎	しえん さぶろう 支援 三郎	1992 年 7 月 7 日 男・女	変更
E0101	〇〇〇〇〇〇〇〇	6月××日	こよう じろう 雇用 二郎		19 年 月 日 男・女	取消
		月 日			19 年 月 日 男・女	

※受講の取消は開講日から起算して10日前までに、受講者の変更は開講日の前日までにご連絡をお願いいたします。

〈連絡事項〉

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に保管し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報について以下の利用目的の範囲内で利用させていただきます。

ご記入いただいた個人情報は、能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に利用させていただきます。

よくあるご質問(Q&A)

※セミナー受講お申し込みの際に、必ずご一読くださいますようお願いいたします。

Q1. 受講申し込みはどのようにしたらよいですか？

A. 「能力開発セミナー受講申込書」(別紙参照)に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

Q2. 申し込む場合の条件はありますか？

A. 各コースに関する基礎知識を有する方としております。ただし、コースによってはより詳細な受講条件を設定している場合があります。セミナーパンフレット・ホームページにてご確認ください。

Q3. 受講申込書になぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A. 所定の要件を満たした方にセミナー修了証書を発行しており、そこに記載するためです。

Q4. コースの詳しい内容について聞けませんか？

A. 各コースの詳しい内容についてご質問がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

Q5. 希望するコースが定員に達している場合はどのようにしたらよいですか？

A. 「キャンセル待ち」としてお申し込みを受け付けることが可能です。空席が生じた場合には、順次お電話にてご連絡いたします。

Q6. 申し込んだコースが中止・変更になることはありますか？

A. 受講申し込みが一定の人数に達していない場合や講師の都合等、やむを得ない事情により中止または日程変更させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。なお、中止コースの受講料を既にお支払い済の場合は、返金させていただきます。

Q7. 申し込んだ後で、受講者を変更することはできますか？

A. 受講者の変更は、開講日前日までに「能力開発セミナー受講取消・変更届」(別紙参照)に必要事項をご記入の上、それぞれの施設へFAXにてご連絡ください。

Q8. 申し込んだコースをキャンセルしたいのですがどのようにしたらよいですか？

A. 受講の取消は、コース開講日から起算して10日前までに「能力開発セミナー受講取消・変更届」(別紙参照)に必要事項をご記入の上、それぞれの施設へFAXにてご連絡ください。それ以降の取消は、受講料の全額を申し受けることとなりますのでご注意ください。

Q9. 受講料の支払いはどのようにしたらよいですか？

A. コース開講日の原則10日前までに、受講票、受講のご案内、受講料払込用紙(払込取扱票)を送付いたします。受講料は、「受講のご案内」に記載した指定日までにお振込ください。なお、払込手数料はお客様負担となります。(※受講料には消費税が含まれております。)

Q10. 申し込んだコースを欠席する場合はどのようにしたらよいですか？

A. お電話にてご連絡ください。使用するテキスト等を送付いたします。

Q11. 受講する際の服装・持ち物はどのようにしたらよいですか？

A. 服装について特に決まりはありません。ただし、セミナーパンフレットやホームページ等の「持参品」欄に作業服等の指定がある場合は、ご確認の上ご持参願います。また、その他持ち物に関しましては「持参品」欄をご確認の上、当日までにご準備願います。

Q12. 各セミナー会場（教室）への案内はありますか？

A. 事前に送付する受講票に会場を記載しております。また、セミナー当日までに会場の変更がある場合がございます。セミナー当日は、本館1階の電光掲示板にて会場を確認の上、直接会場へお越しください。

Q13. 駐車場はありますか？

A. ポリテクセンター千葉及び君津では、十分な駐車場を確保しておりますので、お車で来られることも可能です。なお、駐車場での事故等については責任を負いかねますので、ご了承ください。

Q14. 昼食についてはどのようにしたらよいですか？

A. ポリテクセンター千葉では、あらかじめ昼食をご用意いただくか、本館1階ロビーで平日のみお弁当を販売しておりますのでご利用ください。その際は平日11時までに食券をご購入ください（400円程度）。
ポリテクセンター君津では、あらかじめ昼食をご用意いただくか、平日のみ受付にてお弁当の注文を申し受けますので、そちらをご利用ください。

Q15. 宿泊施設はありますか？

A. ポリテクセンター千葉及び君津には宿泊施設がありません。ご宿泊の必要がある方は、お手数ですが、近隣の宿泊施設を各自でご予約ください。（JR稲毛駅、JR千葉駅、JR内房線君津駅周辺等）

Q16. セミナー修了証書の交付条件はありますか？

A. 修了証書は、出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%以上となる場合に交付いたします。なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

Q17. セミナー会場で録音及び撮影してもよいですか？

A. 受講中の写真・ビデオ等の撮影・録音等はお断りしておりますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】

◆ポリテクセンター千葉

訓練第二課（能力開発セミナーに関すること）

TEL：043-422-4622 FAX：043-304-2132

生産性向上人材育成支援センター（生産性向上支援訓練に関すること）

TEL：043-422-4631 FAX：043-304-2132

◆ポリテクセンター君津

訓練課

TEL：0439-52-0219 FAX：0439-57-6386



生産性向上支援訓練のご案内

「生産性向上支援訓練」とは、企業の生産性向上に係る課題解決のための知識やスキルを習得するための訓練です。

新任層から管理者層まで、幅広い階層に対するカリキュラムモデルの中から、お客様に最適なカリキュラムをご提案し、お客様の生産性向上のための課題解決のお手伝いをいたします。

ものづくり分野を中心とした在職者訓練と併せて、生産性向上支援訓練の活用もご検討ください。

○生産性向上支援訓練とは

目 的	組織の生産性向上に係る課題解決のための知識や技能・技術を習得することを目的としています。
訓練内容	流通、物流、IoT、クラウド、マーケティング等、企業の生産性の向上に効果的な管理・改善やその技法に関する訓練です。
対 象 者	会社からの指示により受講される方（個人での受講はできません。）
講 師	専門的な技能やノウハウを持つ民間機関等が訓練を担当します。
日程・時間	訓練時間は、12時間～30時間の間で、ご要望に合わせて設定できます。夜間や土日の訓練や、一日あたりの訓練時間が短時間の設定も可能です。
会 場	お客様の自社会議室や外部の施設など、ご要望に合わせて設定できます。
定 員	10名～30名を標準とします。
受 講 料	訓練時間に応じて、1人あたり5,400円または、6,480円（税込）です。

○生産性向上支援訓練コース

- ・本年度は36コースが実施可能です。コースの種類については53ページをご覧ください。
- ・各コースのモデルカリキュラムを基に、お客様に最適なカリキュラムをご提案します。
- ・各コースのモデルカリキュラムについては、お問い合わせください。

○実施までの流れ

- ① お客様の生産性向上のための課題やご要望をもとにカリキュラムをご提案し、日程等を調整して訓練コースを設定します。
- ② ポリテクセンターが訓練実施機関の募集、選定を行います。
- ③ 受講申込後、所定の期日までに受講料をお支払いください。
- ④ お客様と②で決定した訓練実施機関とで、訓練の実施方法等の調整を行います。
- ⑤ 訓練受講者は直接会場へ行き、訓練を受講してください。

○助成金の活用

- ・生産性向上支援訓練を従業員に受講させた利用事業主には、条件が満たせば千葉労働局の「人材開発支援助成金」の支給を受けることができます。

【助成金のお問合せ先】

千葉労働局 職業対策課分室

TEL: 043-441-5678

生産性向上支援訓練のコース

A:業務プロセスの改善		
生産管理		
	(ねらい)	(コース名)
1	生産・開発計画を学ぶ	生産性分析と向上
2		生産現場の問題解決
3	工程管理を学ぶ	生産性向上のための課題とラインバランシング
4		生産計画と工程管理
5	管理手法を学ぶ	サービス業におけるIE活用
6	原価管理を学ぶ	原価管理とコストダウン
7	製品出荷・在庫管理を学ぶ	在庫管理システムの導入
8	購買・原材料在庫管理・払い出しを学ぶ	購買・仕入れのコスト削減
9		POS(Point of sale)システムの活用技術
品質保証・管理		
	(ねらい)	(コース名)
10	品質保証・管理手法を学ぶ	品質管理基本
11		品質管理実践
流通・物流		
	(ねらい)	(コース名)
12	流通・物流を学ぶ	卸売業・サービス業の販売戦略
13		流通システム設計
14		物流システム設計
15		3PLとSCM
16		物流のIT化
17		SCMの現状と将来展望
バックオフィス		
	(ねらい)	(コース名)
18	クラウド・IoTを学ぶ	クラウド活用入門
19		IoT活用によるビジネス展開
20		クラウドを活用したシステム導入
21		IoT導入に係る情報セキュリティ
B:組織マネジメント		
	(ねらい)	(コース名)
22	組織戦略を学ぶ	IoTを活用したビジネスモデル
23	リスクマネジメントを学ぶ	個人情報保護と情報管理
24	ナレッジマネジメントを学ぶ	ナレッジマネジメント
25		知的財産権トラブルへの対応(1)～著作権、特許・実用新案法
26		知的財産権トラブルへの対応(2)～意匠法、商標法、不正競争防止法
C:営業・販売		
営業・販売		
	(ねらい)	(コース名)
27	顧客拡大を学ぶ	マーケティング志向の営業活動の分析と改善
28		統計データ解析とコンセプトメイキング
29	顧客情報の分析を学ぶ	顧客分析手法
マーケティング		
	(ねらい)	(コース名)
30	マーケティングの概論を学ぶ	実務に基づくマーケティング入門
31		マーケティング戦略概論
32	顧客拡大の手法を学ぶ	マーケット情報とマーケティング計画(調査編)
33		マーケット情報とマーケティング計画(販売編)
企画・価格		
	(ねらい)	(コース名)
34	サービス・商品開発を学ぶ	製品・市場戦略
35		新サービス・商品開発の基本プロセス
プロモーション		
	(ねらい)	(コース名)
36	販売促進を学ぶ	プロモーションとチャネル戦略

【各種ご案内】

能力開発セミナーを実施している千葉県内の施設のご案内

ポリテクセンター千葉及びポリテクセンター君津以外に、千葉県内で（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構の能力開発セミナーを実施している施設をご案内いたします。詳しい内容については、各施設のホームページなどをご覧ください。

◆ポリテクカレッジ千葉（関東職業能力開発大学校附属千葉職業能力開発短期大学校）

URL <http://www3.jeed.or.jp/chiba/college/>

【千葉キャンパス】

〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町2-25

（お問い合わせ先） 学務援助課 TEL 043-242-4192

【成田キャンパス】

〒286-0045 千葉県成田市並木町221-20

（お問い合わせ先） TEL 0476-22-4351

◆高度ポリテクセンター（千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター）

URL <http://www.apc.jeed.or.jp/>

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

（お問い合わせ先） TEL 043-296-2582

「ちば企業人スキルアップセミナー」について

（千葉県が実施する在職者向け職業訓練）

千葉県では県立高等技術専門校において、在職者を対象に「ちば企業人スキルアップセミナー」を開催しています。

企業等に勤めておられる方で、今の仕事の能力を向上させたい方や、仕事に必要な技術・知識・資格等を得たい方を対象に行う、短期間（2～4日）の講習会です。

訓練内容については、次のホームページでご確認の上、直接、実施校までお問い合わせください。

URL <http://www.pref.chiba.lg.jp/sanjin/kunren/skillup/>

●実施校は次のとおりです。

実施校名	電話番号
船橋高等技術専門校	047-433-2790
市原高等技術専門校	0436-22-0403
我孫子高等技術専門校	04-7184-6411
東金高等技術専門校	0475-52-3148
旭高等技術専門校	0479-62-2508

詳細については、千葉県庁の下記の部署までお問い合わせください。

千葉県商工労働部産業人材課
TEL：043-223-2754
FAX：043-221-3730

平成 29 年度カレンダー（2017. 10 ～ 2018. 3）

— セミナー受講時の日程調整等にご活用ください！ —

2017 年 10 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2018 年 1 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

交通アクセス

ポリテクセンター千葉

〒263-0004 千葉県千葉市稲毛区六方町 274番地

◆訓練第二課

TEL 043-422-4622/FAX 043-304-2132

◆生産性向上人材育成支援センター

TEL 043-422-4631/FAX 043-304-2132

交通機関

■自動車

- 国道16号線長沼十字路から
四街道方面1.5kmを右折

■バス

●JR稲毛駅

JR総武線「稲毛駅」東口2番乗り場から
京成バス（山王町行）乗車約25分
「ヴィルフォーレ稲毛」下車 徒歩約10分

●JR西千葉駅

千葉内陸バス（山王町行またはみつわ台車庫行）
乗車約25分「愛生町」下車 徒歩約7分

●JR四街道駅

千葉内陸バス（草野車庫行）乗車約10分
「ポリテクセンター千葉入口」下車 徒歩約6分

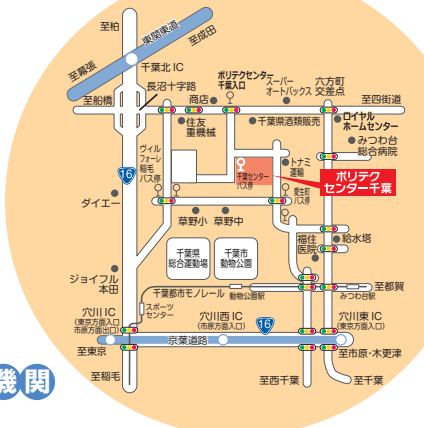
●千葉都市モノレール

「スポーツセンター駅」から京成バス（山王町行）乗車
「ヴィルフォーレ稲毛」下車 徒歩約10分

※上記の路線バスは、いずれも混雑が予想されます。
受講開始時間をご確認いただき、余裕を持ってお越し下さい。

■タクシー

- JR稲毛駅、JR西千葉駅から約15分
- JR四街道駅・千葉都市モノレール
「スポーツセンター駅」から約10分



ポリテクセンター君津

交通機関

JR内房線君津駅（北口）から徒歩15分

〒299-1142 千葉県君津市坂田 428

TEL 0439-52-0219/FAX 0439-57-6386

